

【令和6年11月24日執行】

名古屋市長選挙における 名古屋市民の意識調査

－調査結果の概要－

令和7年3月

名古屋市選挙管理委員会

は じ め に

令和6年11月24日に執行されました名古屋市長選挙の投票率は39.63%と、前回の投票率（令和3年4月25日執行42.12%）と比較すると約2.5ポイント下回る結果となりました。

近年の市長選挙の投票率の変遷は、平成5年の選挙以降30%台前半を推移し、平成17年に過去2番目に低い27.50%を記録して以降、平成21年は50.54%、平成23年は54.14%と上昇傾向にありましたが、平成25年は39.35%、平成29年は36.90%、令和3年は42.12%と、40%前後を推移する状況となっていました。

今回の選挙は、現職市長の退職申立による選挙であり、戦後最多タイの7名が立候補者するなど、投票率の上昇を期待しましたが、結果として前回の投票率を下回りました。

しかし、市政への関心度や今回の選挙への関心度は、令和3年の調査に比べると関心があるとする方の割合が上昇しております。決して政治や選挙そのものへの関心が低いのではなく、投票行動に結びついていないことが分かりました。

投票率が特に低い若者の政治参加意識の向上を含め、少しでも投票行動に結びつくような工夫を重ねて取り組んでいく必要があると考えています。

この意識調査では、市内2,000人の有権者の皆様を対象に、生活や政治に対する評価や意識、選挙での投票行動、投票環境に対する印象などのほか、選挙の際の啓発事業についてお尋ねしました。

質問項目は、過去に実施した意識調査や、公益財団法人明るい選挙推進協会にて実施したこれまでの調査を踏まえています。

調査の企画は、名古屋大学の小野耕二名誉教授（明るい選挙名古屋市推進協議会会長）や愛知学院大学の森正教授（明るい選挙名古屋市推進協議会委員）にご協力をいただいております。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力をいただきました市民の皆様、並びに関係者の皆様へ、心から感謝の意を表しますとともに、この冊子が明るい選挙を推進してまいります上で、よりよき資料となりますことを願っております。

令和7年3月

名古屋市選挙管理委員会

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	調査実施機関.....	1
II	調査結果.....	2
1	回答者属性.....	2
2	暮らしと政治への関心について.....	5
問1	名古屋市政への関心度	5
問2	名古屋市政の満足度	6
問3	政治活動への参加度	7
3	投票に対する意識について.....	8
問4	投票への考え方	8
問5	自分の一票に対する意識	9
問6	関心のある選挙	10
問7	ふだん支持している政党等	12
問8	若年層の政治や選挙に関する意識を高める方策	13

4	名古屋市長選挙での投票行動について.....	14
問9	今回の選挙を知った方法.....	14
問10	今回の選挙の関心度.....	15
問11	投票行動の有無.....	16
問12	投票行動の動機.....	17
問13	意思決定の情報.....	18
問14	候補者を選択するときに重視した点.....	19
問15	投票所の印象.....	20
問16	投票所の投票のしやすさ.....	20
問17	投票所の投票しやすい雰囲気.....	21
問18	投票に行かなかった理由.....	21
問19	期日前投票制度を利用しなかった理由.....	22
問20	投票に行ったことがある選挙.....	23
5	インターネット選挙情報の活用について.....	24
問21	今回の選挙に関するインターネットの利用.....	24
問22	インターネット上の情報の有用性.....	26
6	名古屋市長選挙の啓発事業について.....	27
問23	今回の選挙の啓発事業の中で見聞きしたもの.....	27
問24	特に印象に残っている啓発事業.....	29
7	明るい選挙の推進について.....	30
問25	保護者の投票へついていったことの有無.....	30
問26	有権者と一緒に投票所に行ったことのある人は投票に行く割合が高いことの啓発方法..	31
問27	啓発方法の提案.....	31
問28	今回の選挙の評価.....	32
問29	今後力を入れるべき啓発活動.....	33
8	市政等への要望について.....	34
問30	今後力を入れて欲しい事業の分野.....	34

Ⅲ	調査票.....	35
---	----------	----

I 調査の概要

1 調査の目的

選挙啓発事業の一層の充実を図るため、有権者の皆様の選挙における投票行動や意識についての調査を実施するものです。

2 調査対象

名古屋市在住の有権者の方を無作為抽出

3 調査期間

令和7年2月10日～令和7年2月24日

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEBによる回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
2,000通	707通 (紙：504通、web：203通)	35.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

7 調査実施機関

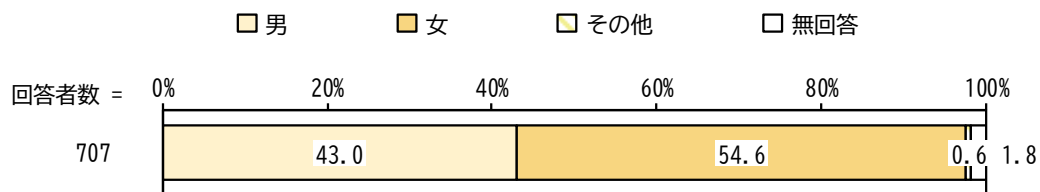
株式会社 名豊

Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

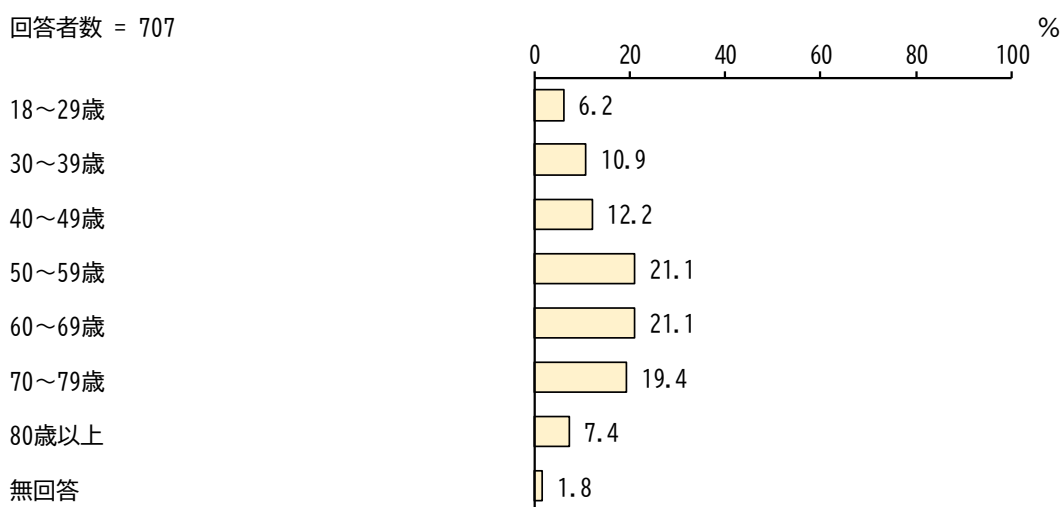
対象者（707 サンプル）の属性は以下に示すとおりである。

1. 性別



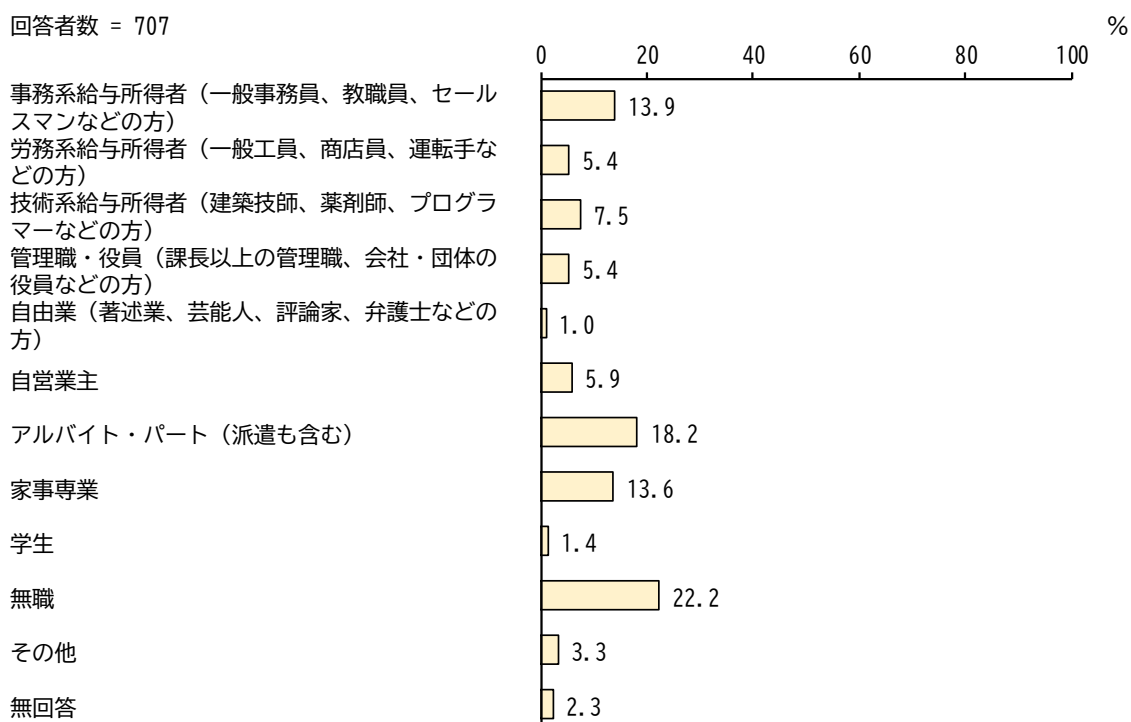
2. 年齢

回答者数 = 707



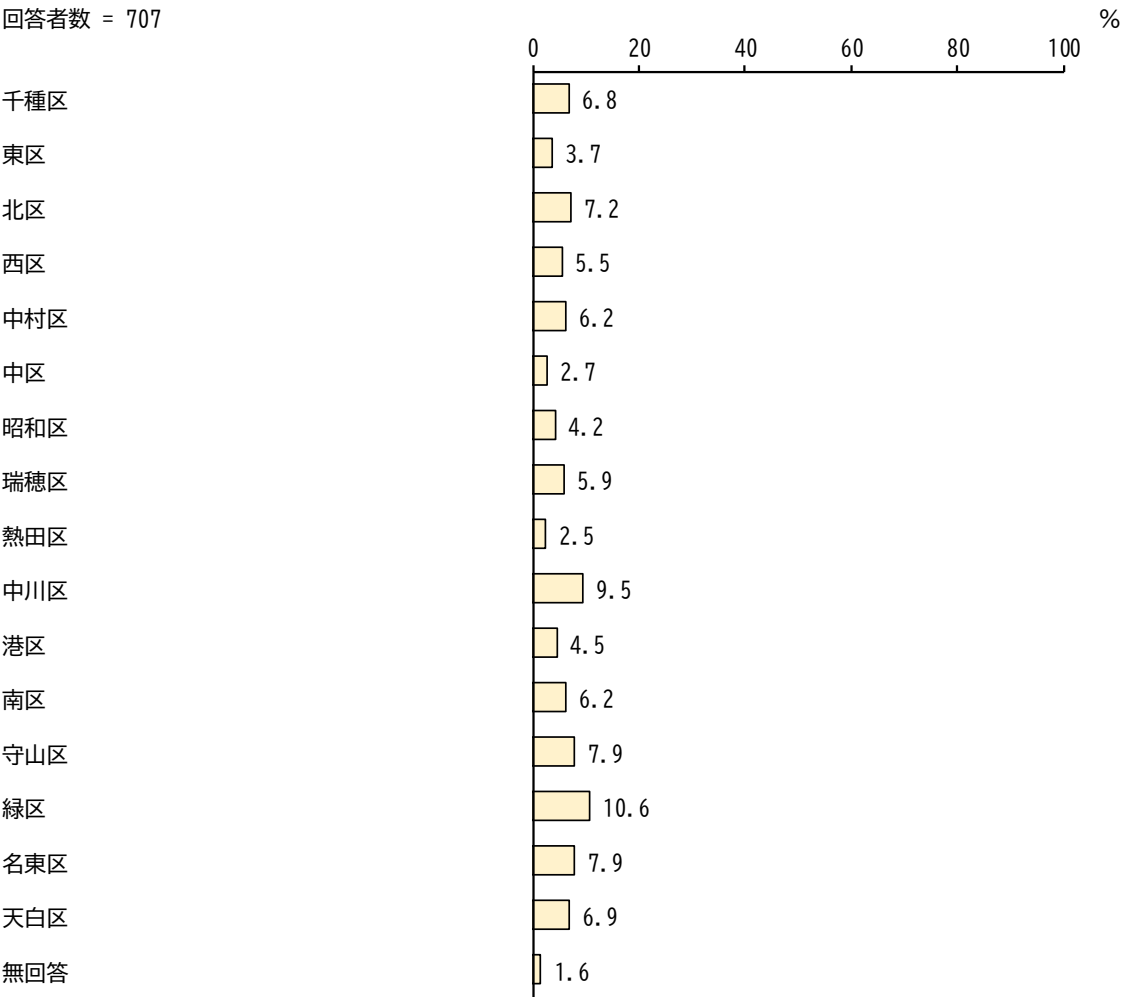
3. 職業

回答者数 = 707



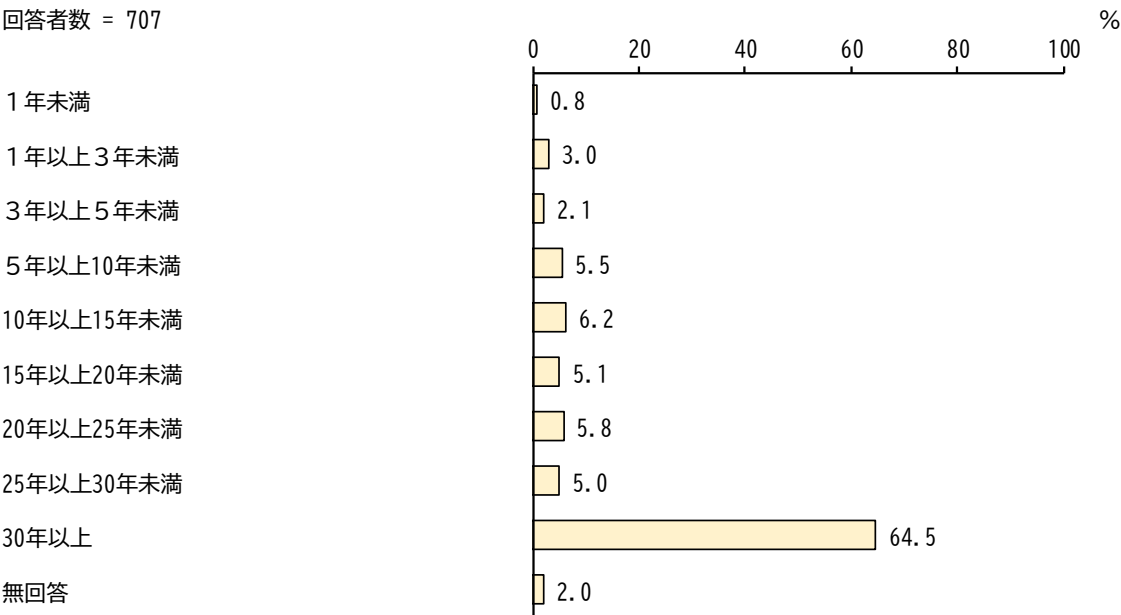
4. 居住地域

回答者数 = 707



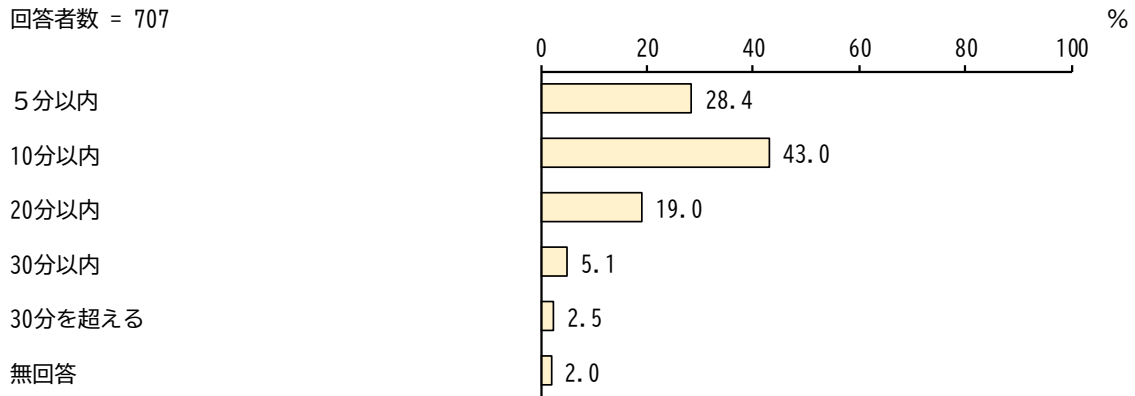
5. 居住年数

回答者数 = 707



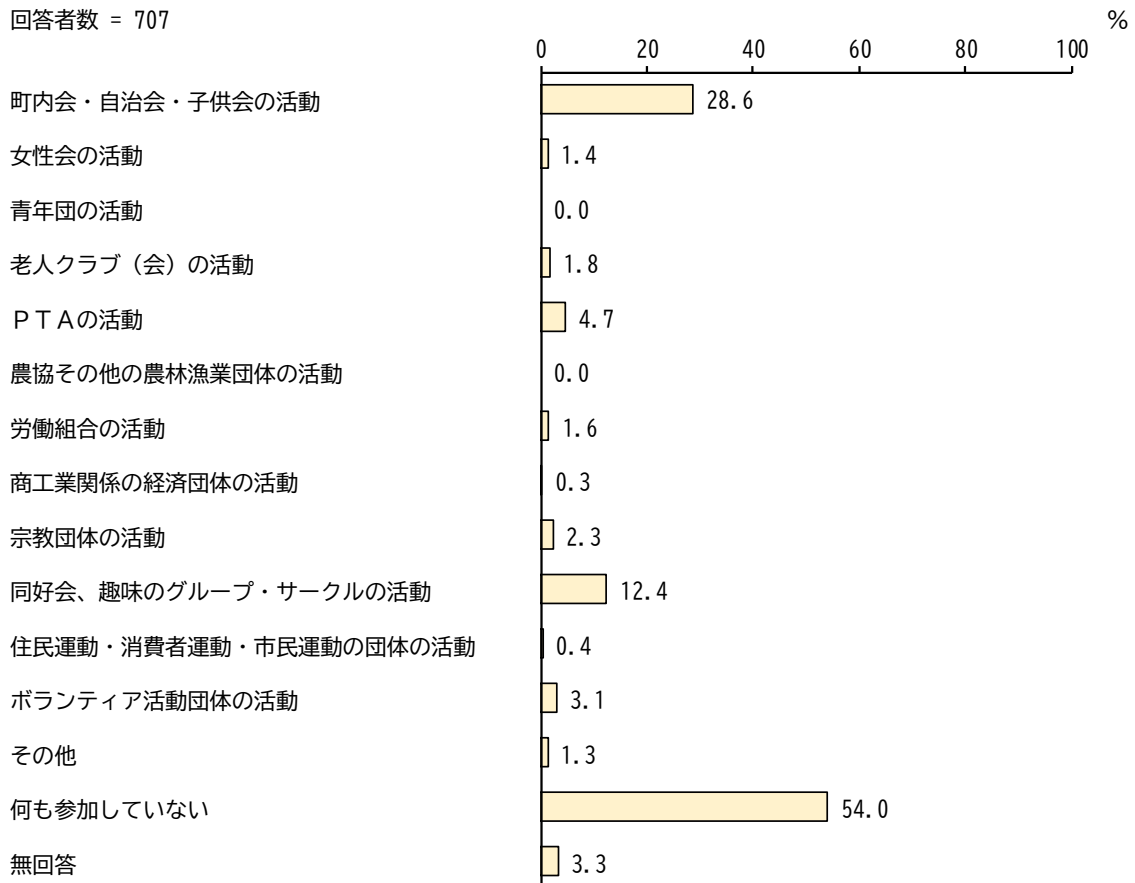
6. 自宅から投票所までの所要時間（徒歩）

回答者数 = 707



7. 参加している地域活動

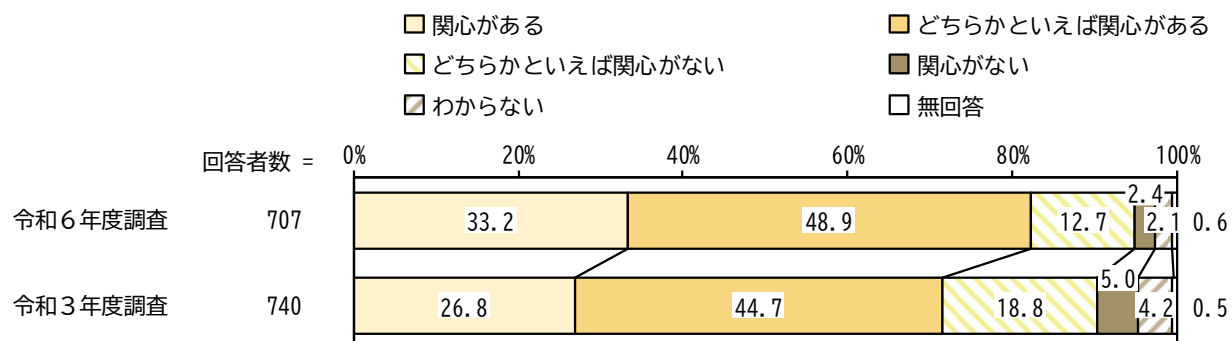
回答者数 = 707



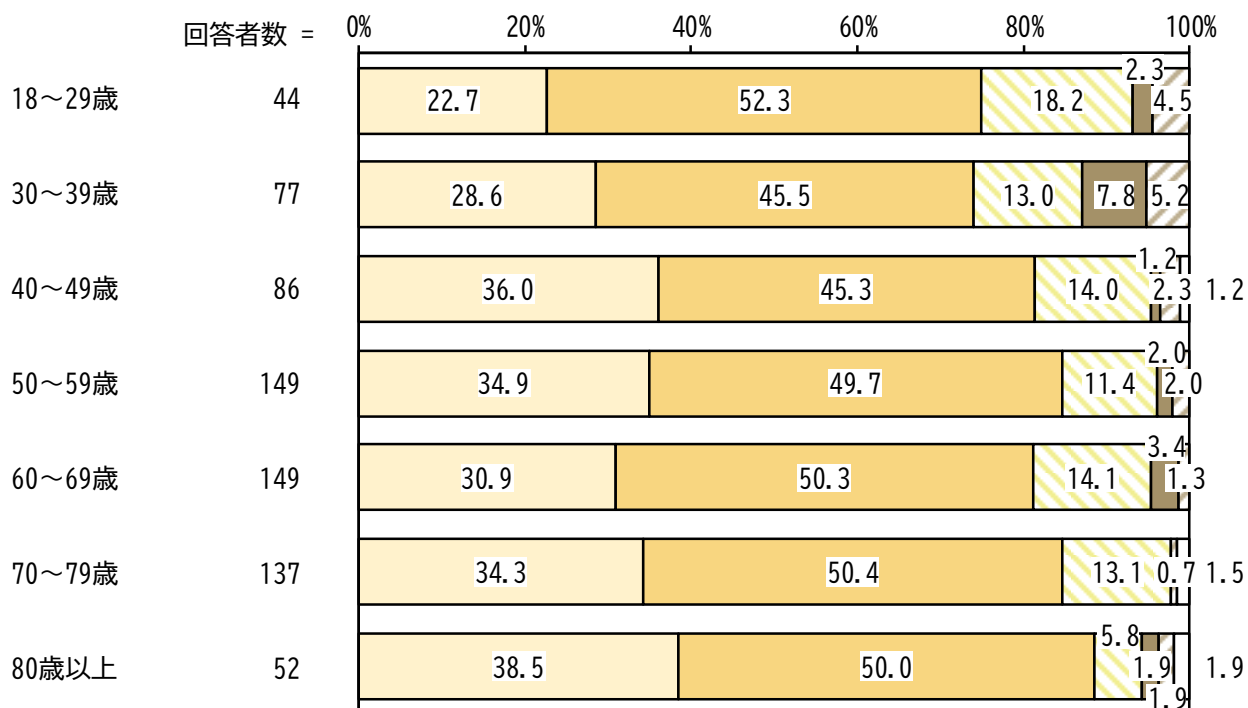
2 暮らしと政治への関心について

[全ての方に]

問1 あなたは、名古屋市政について、どの程度関心がありますか、それとも関心がありませんか。(○印は一つだけ)



年齢階層別 名古屋市政への関心度



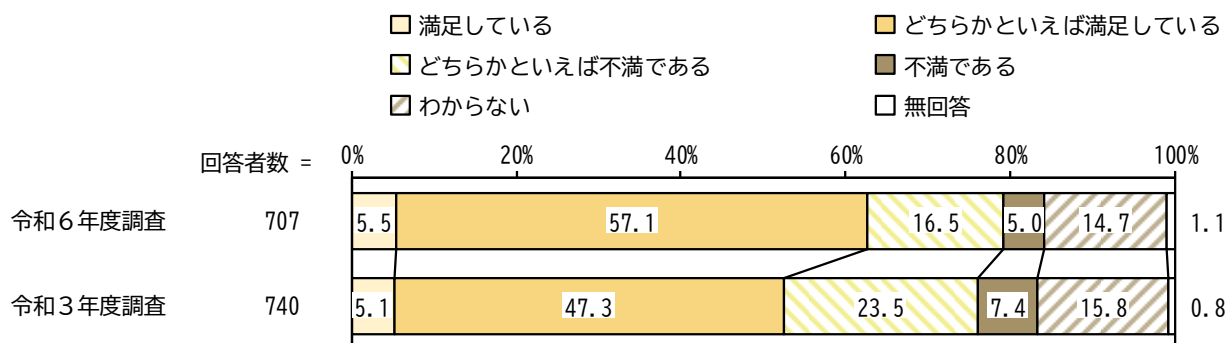
「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた「関心がある」の割合が 82.1%、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」を合わせた「関心がない」の割合が 15.1%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「関心がある」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば関心がない」の割合が減少しています。

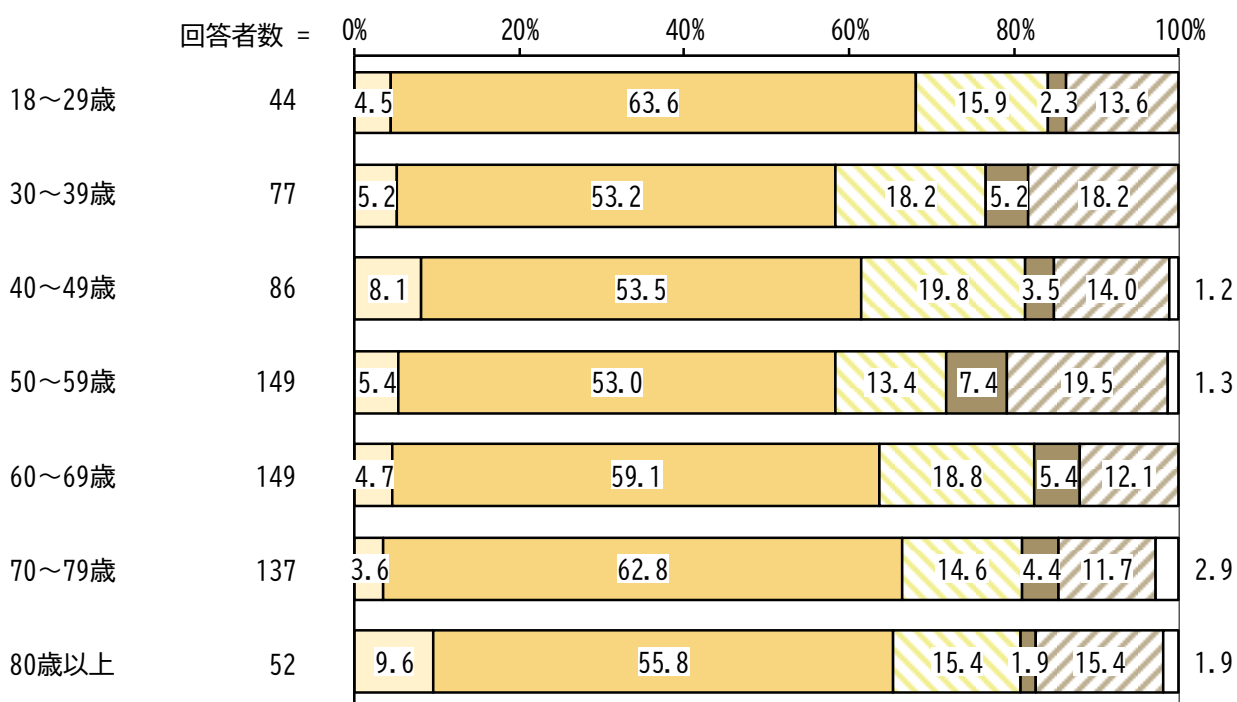
年齢階層別にみると、大きな差はみられません。

[全ての方に]

問2 あなたは日頃、名古屋市政について、どの程度満足していますか、それとも満足していませんか。(○印は一つだけ)



年齢階層別 名古屋市政の満足度



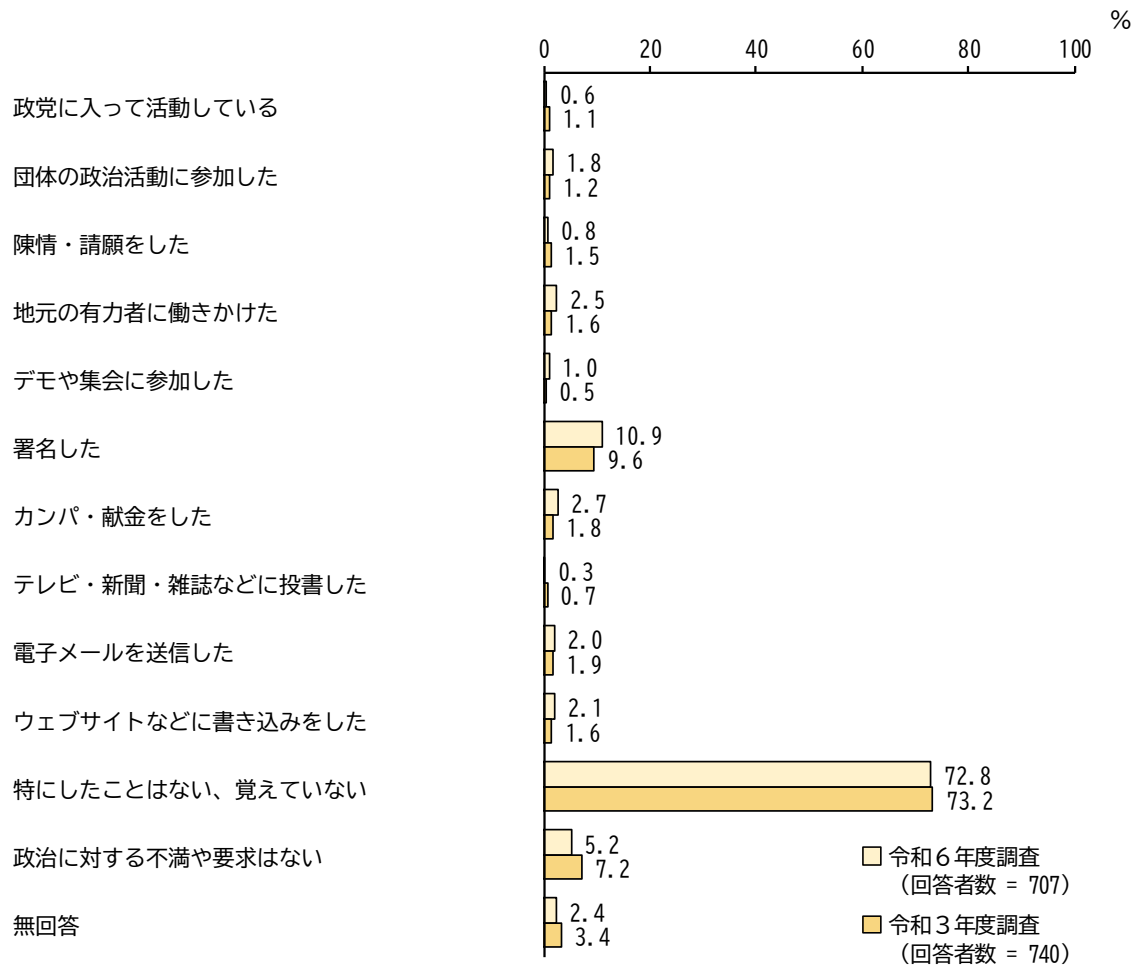
「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた「満足している」の割合が62.6%、「どちらかといえば不満である」「不満である」を合わせた「不満である」の割合が21.5%、「わからない」の割合が14.7%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「どちらかといえば満足している」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば不満である」の割合が減少しています。

年齢階層別にみると、大きな差はみられません。

[全ての方に]

問3 あなたは、ご自分の不満や要求を政治に反映させるためにここ1～2年の間に何かしましたか。(○印はいくつでも)



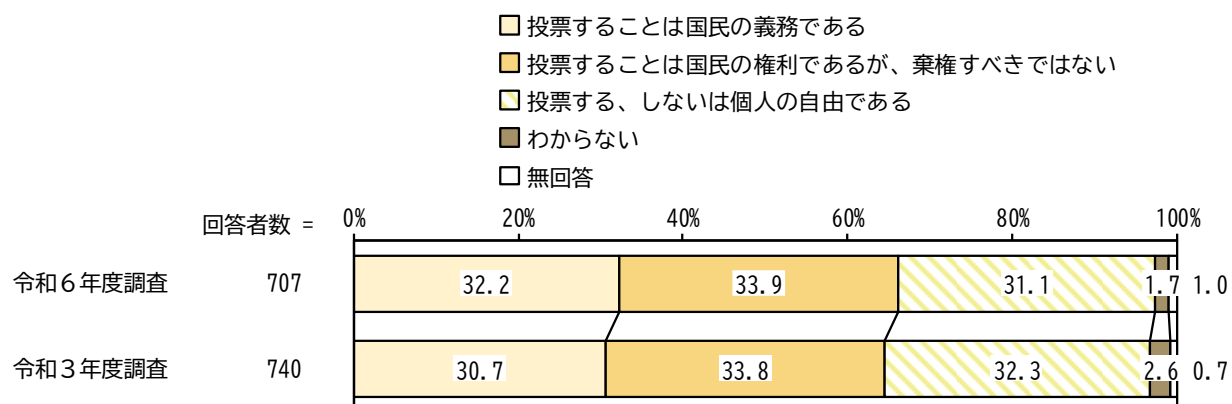
「特にしたことはない、覚えていない」の割合が72.8%と最も高く、次いで「署名した」の割合が10.9%となっています。

令和3年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

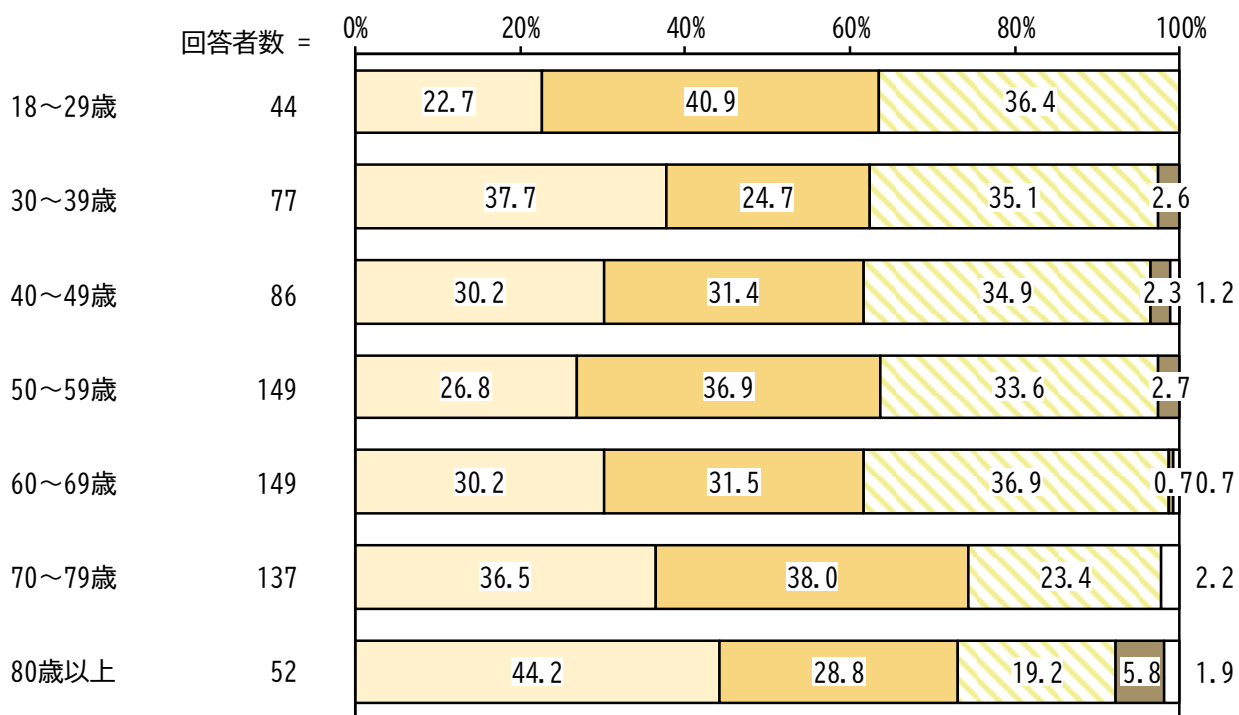
3 投票に対する意識について

[全ての方に]

問4 あなたは選挙での投票について、次の中のどれに近い考えをお持ちですか。
(○印は一つだけ)



年齢階層別 投票への考え方



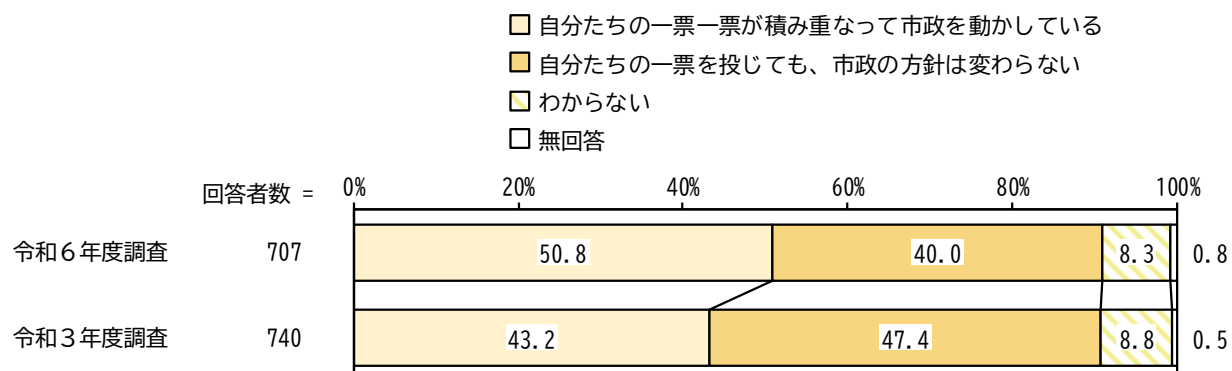
「投票することは国民の権利であるが、棄権すべきではない」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「投票することは国民の義務である」の割合が 32.2%、「投票する、しないは個人の自由である」の割合が 31.1%となっています。

令和3年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年齢階層別にみると、「投票する、しないは個人の自由である」について 80 歳以上で低くなっています。

[全ての方に]

問5 あなたはご自分の投票について、次のどちらの気持ちを強く感じますか。
(○印は一つだけ)

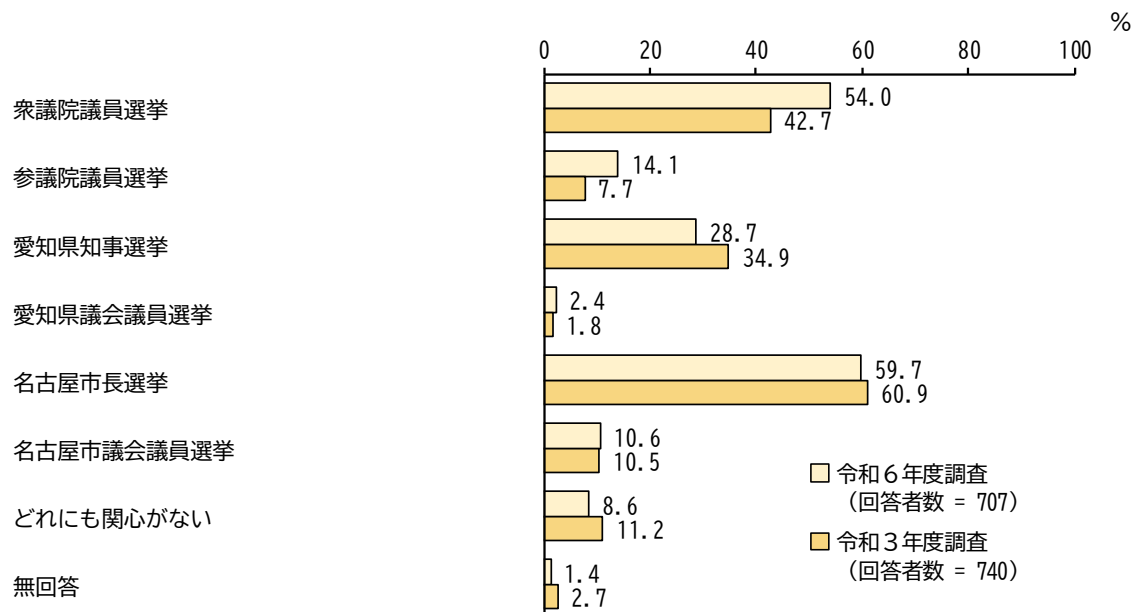


「自分たちの一票一票が積み重なって市政を動かしている」の割合が50.8%、「自分たちの一票を投じて、市政の方針は変わらない」の割合が40.0%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「自分たちの一票一票が積み重なって市政を動かしている」の割合が増加しています。一方、「自分たちの一票を投じて、市政の方針は変わらない」の割合が減少しています。

[全ての方に]

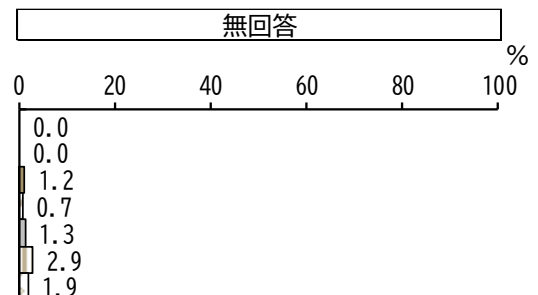
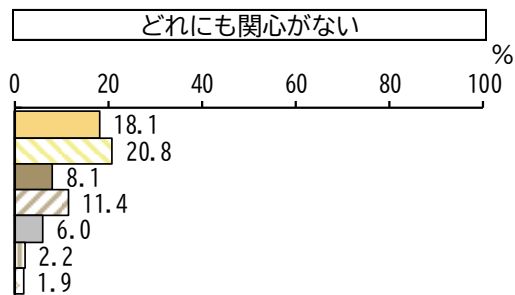
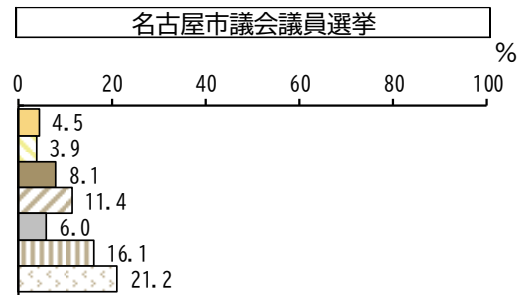
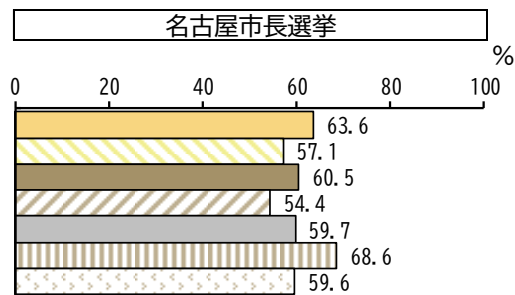
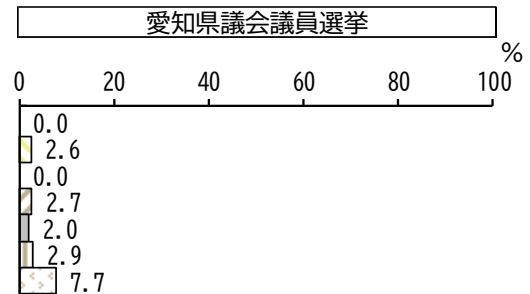
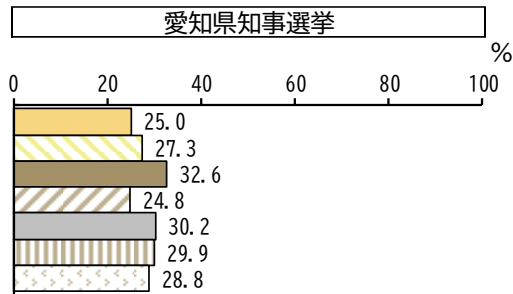
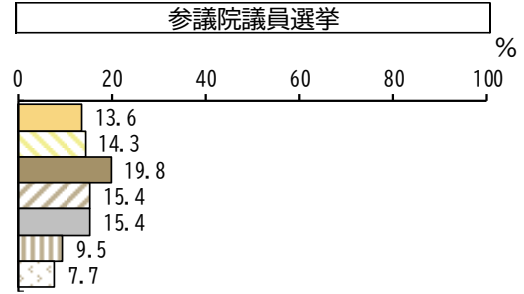
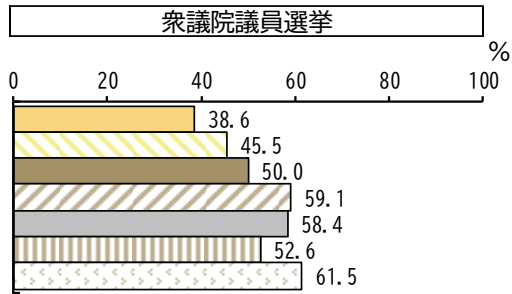
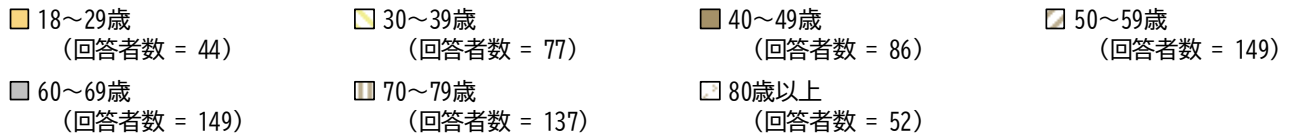
問6 この6つの選挙の中であなたが特に興味を持っている選挙を2つまであげてください。
(○印は2つまで)



「名古屋市長選挙」の割合が59.7%と最も高く、次いで「衆議院議員選挙」の割合が54.0%、「愛知県知事選挙」の割合が28.7%となっています。

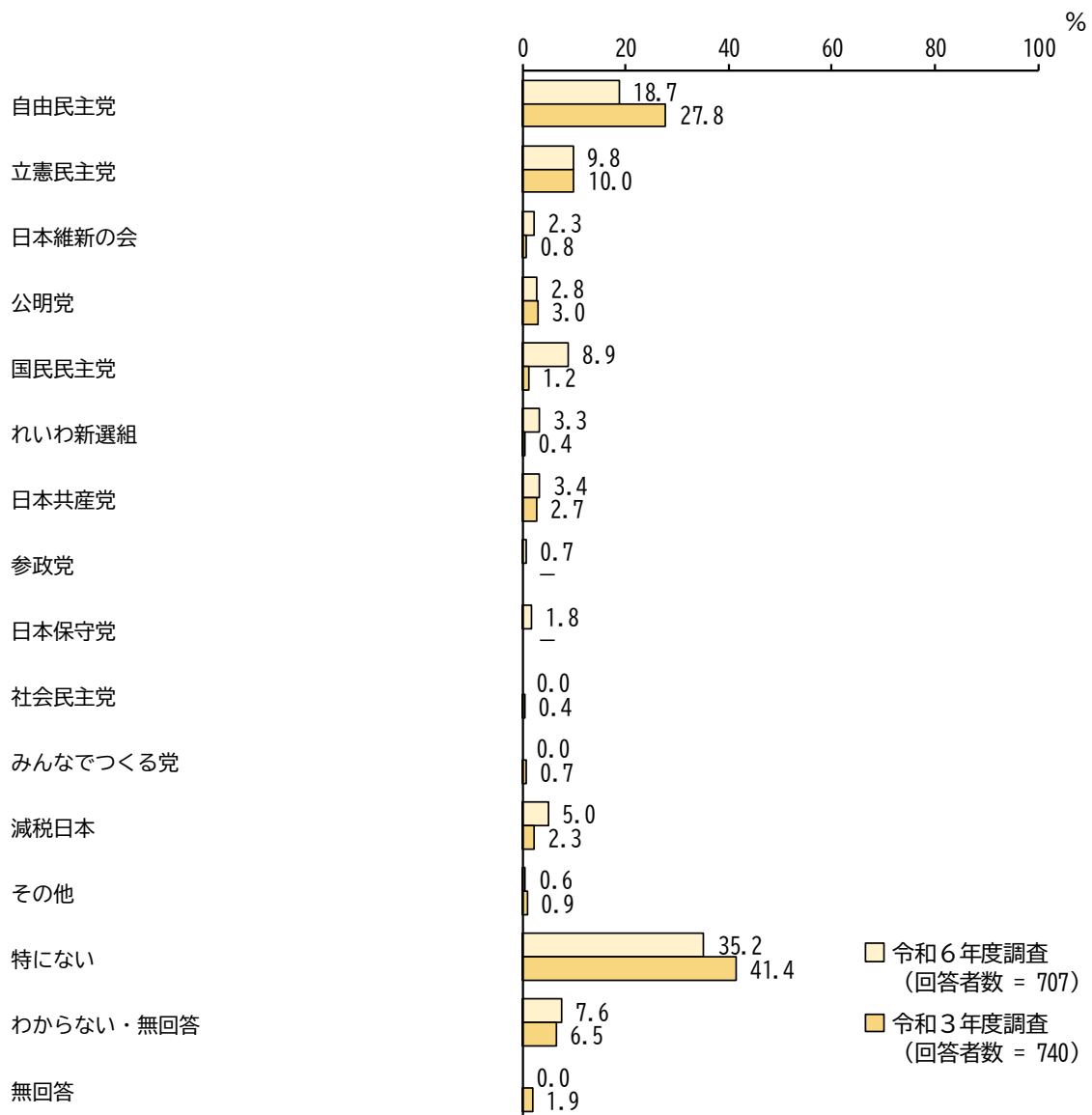
令和3年度調査と比較すると、「衆議院議員選挙」「参議院議員選挙」の割合が増加しています。一方、「愛知県知事選挙」の割合が減少しています。

年齢階層別 関心のある選挙



[全ての方に]

問7 あなたは普段、どの政党等を支持していますか。さしつかえなければお聞かせください。(○印は一つだけ)(政党名は令和6年11月24日時点)

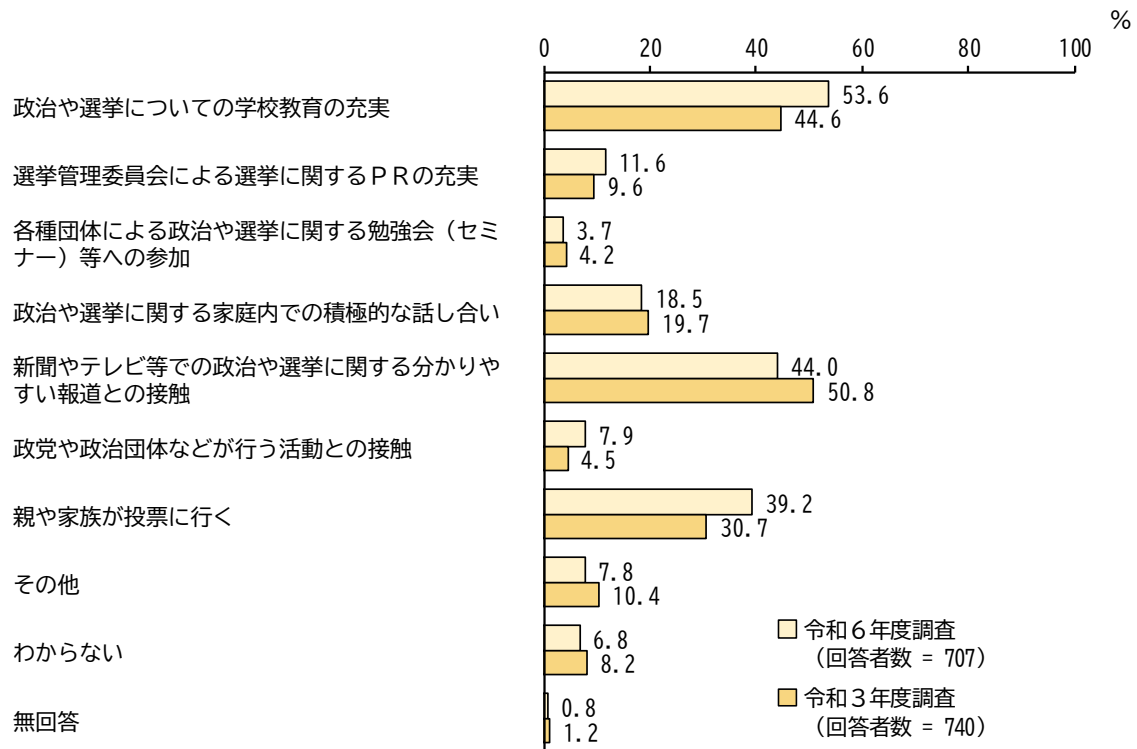


※令和3年度調査では、「参政党」「日本保守党」はありません。「みんなでつくる党」は令和3年度調査では、「NHK受信料を支払わない方法を教える党」となっています。

「特にない」の割合が35.2%と最も高く、次いで「自由民主党」の割合が18.7%となっています。令和3年度調査と比較すると、「国民民主党」の割合が増加しています。一方、「自由民主党」「特にない」の割合が減少しています。

[全ての方に]

問8 あなたは今後、若年層の政治や選挙に関する意識を高めるためにはどのようにしたらよいと思いますか。(〇印はいくつでも)



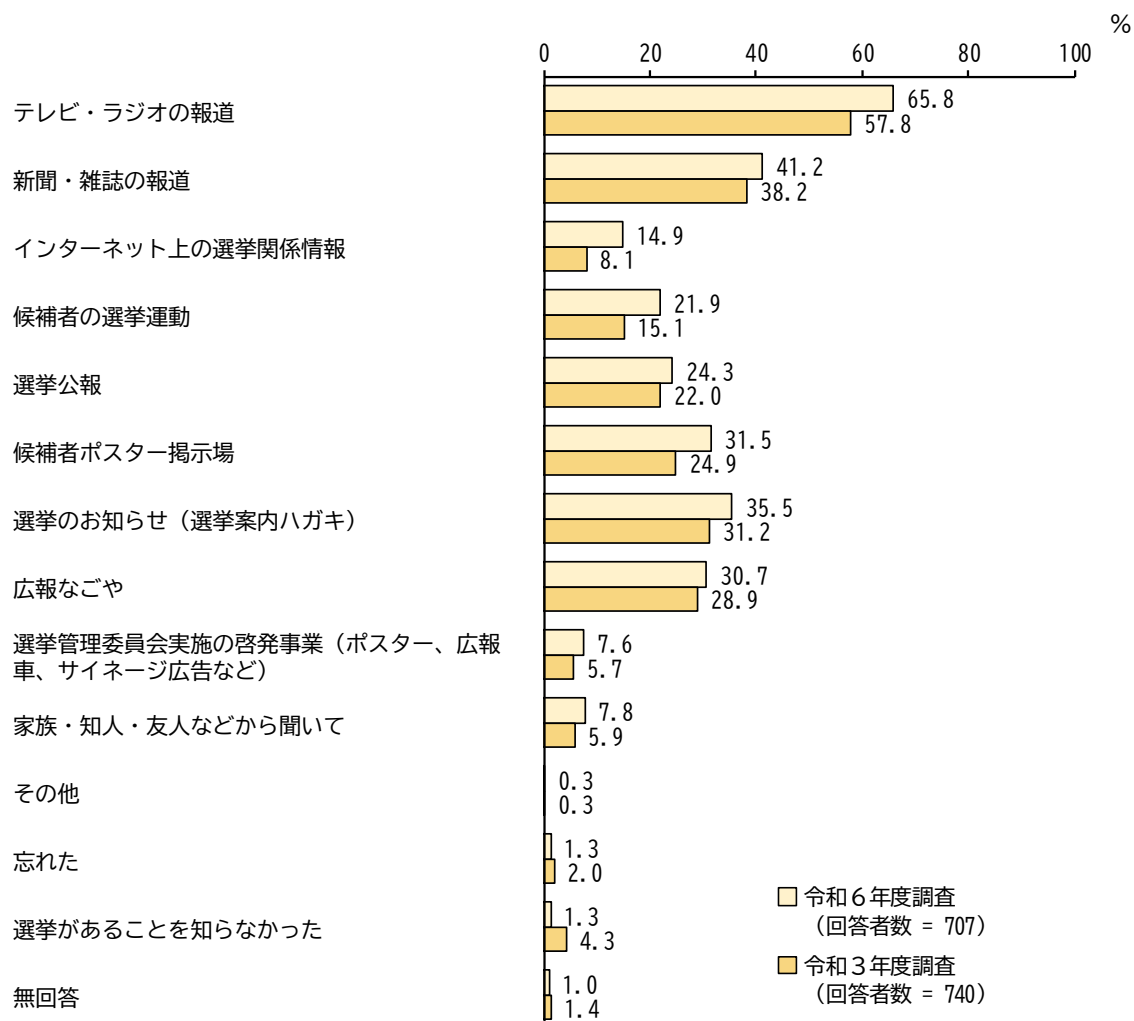
「政治や選挙についての学校教育の充実」の割合が53.6%と最も高く、次いで「新聞やテレビ等での政治や選挙に関する分かりやすい報道との接触」の割合が44.0%、「親や家族が投票に行く」の割合が39.2%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「政治や選挙についての学校教育の充実」「親や家族が投票に行く」の割合が増加しています。一方、「新聞やテレビ等での政治や選挙に関する分かりやすい報道との接触」の割合が減少しています。

4 名古屋市長選挙での投票行動について

[全ての方に]

問9 あなたは今回の名古屋市長選挙を何によって知りましたか。この中から全てあげてください。(○印はいくつでも)

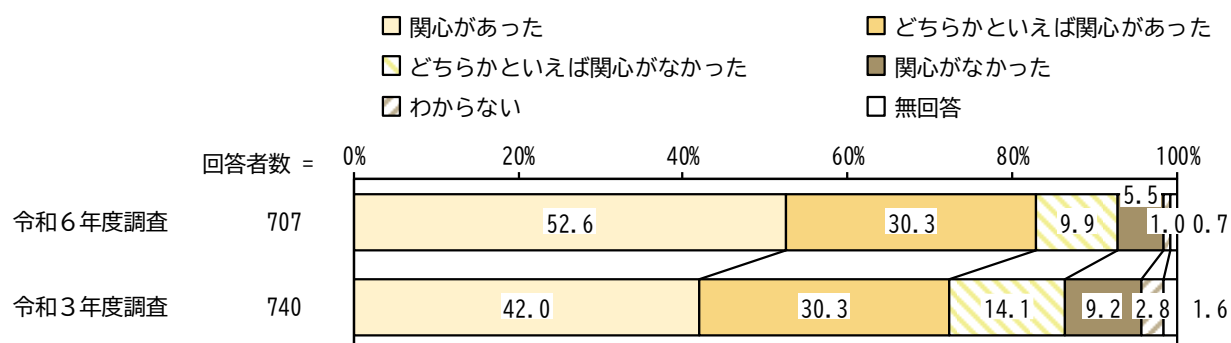


「テレビ・ラジオの報道」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「新聞・雑誌の報道」の割合が 41.2%、「選挙のお知らせ(選挙案内ハガキ)」の割合が 35.5%となっています。

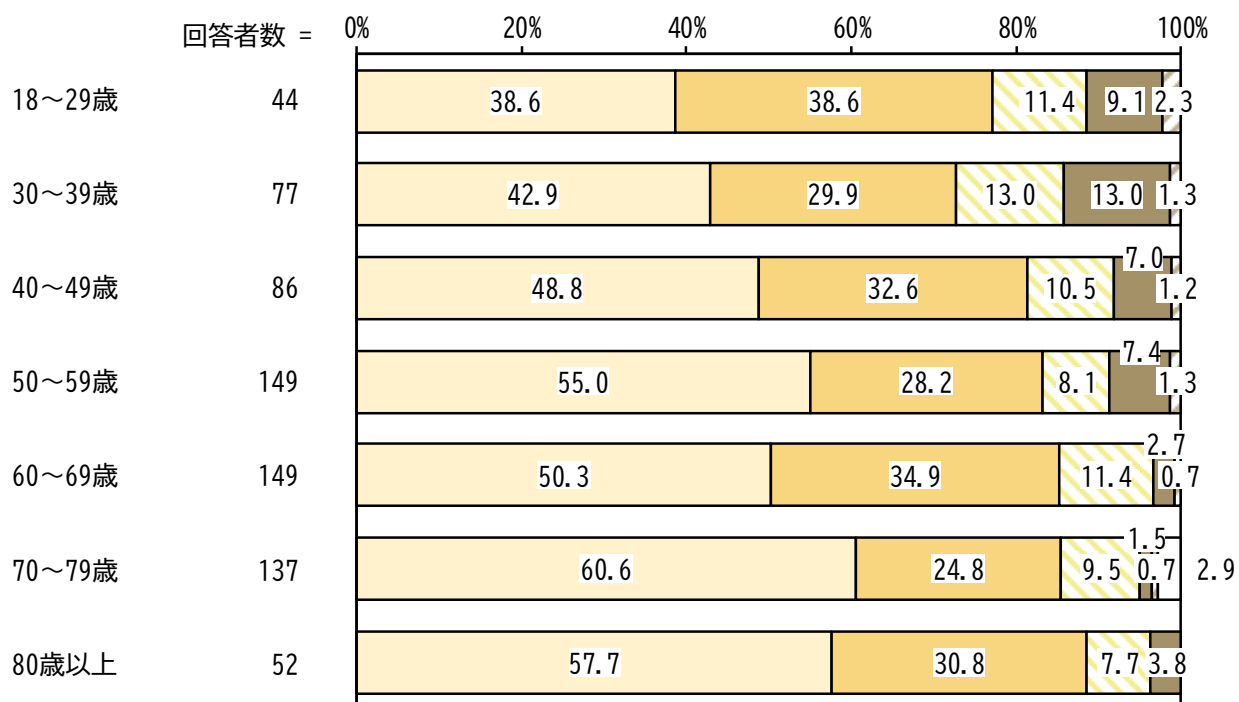
令和3年度調査と比較すると、「テレビ・ラジオの報道」「インターネット上の選挙関係情報」「候補者の選挙運動」「候補者ポスター掲示場」の割合が増加しています。

[全ての方に]

問 10 あなたは今回の名古屋市長選挙に関心がありましたか、それとも関心がありませんでしたか。(○印は一つだけ)



年齢階層別 今回の選挙の関心度



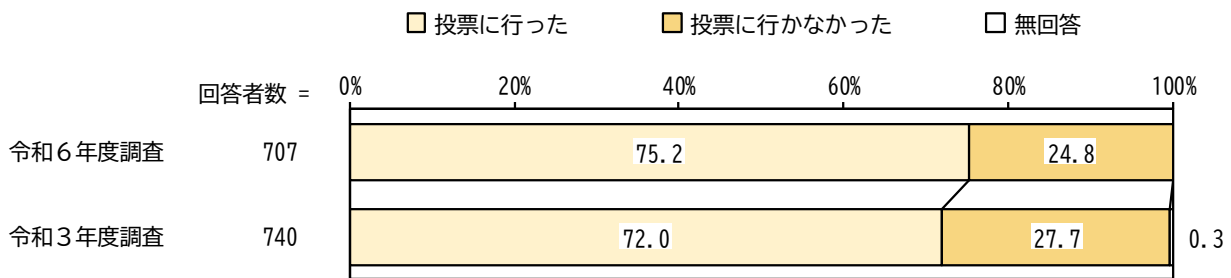
「関心があった」「どちらかといえば関心があった」を合わせた「関心があった」の割合が82.9%、「どちらかといえば関心がなかった」「関心がなかった」を合わせた「関心がなかった」の割合が15.4%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「関心があった」の割合が増加しています。

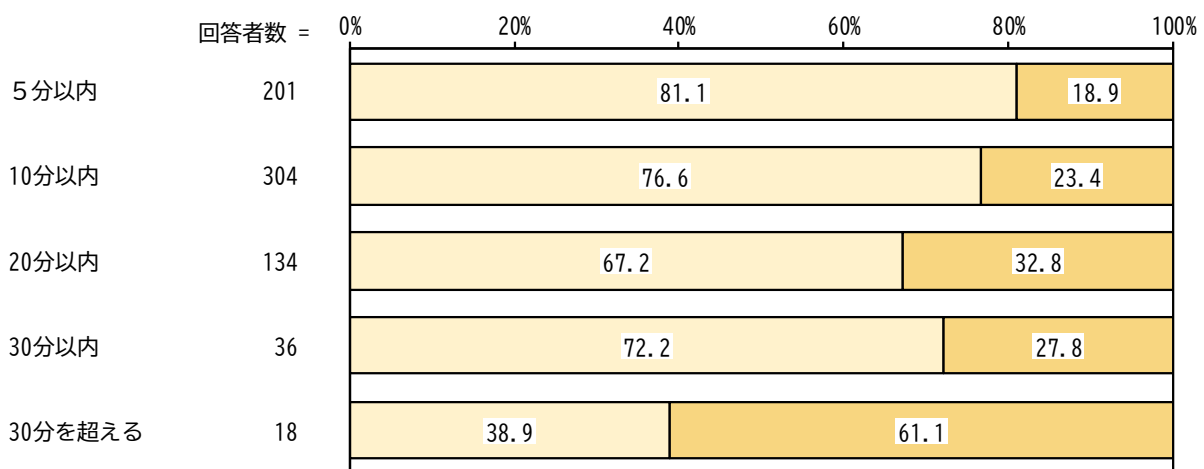
年齢階層別にみると、「関心があった」で、18～29歳から80歳以上にかけて高くなる傾向にあります。

[全ての方に]

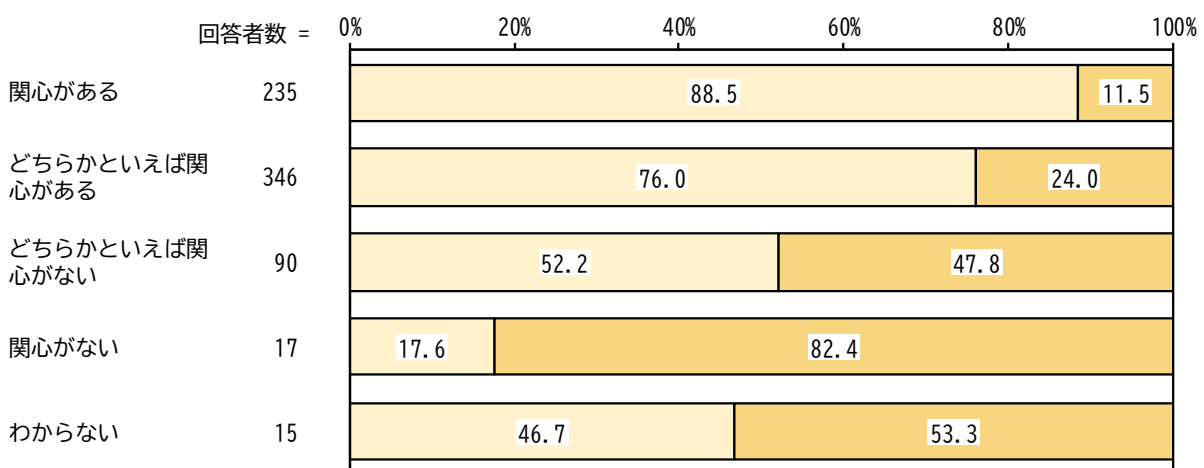
問 11 あなたは今回の名古屋市長選挙で投票に行きましたか、それとも行きませんでしたか。(○印は一つだけ)



投票所まで歩いてかかる所要時間別 投票行動の有無



名古屋市政についての関心度別 投票行動の有無



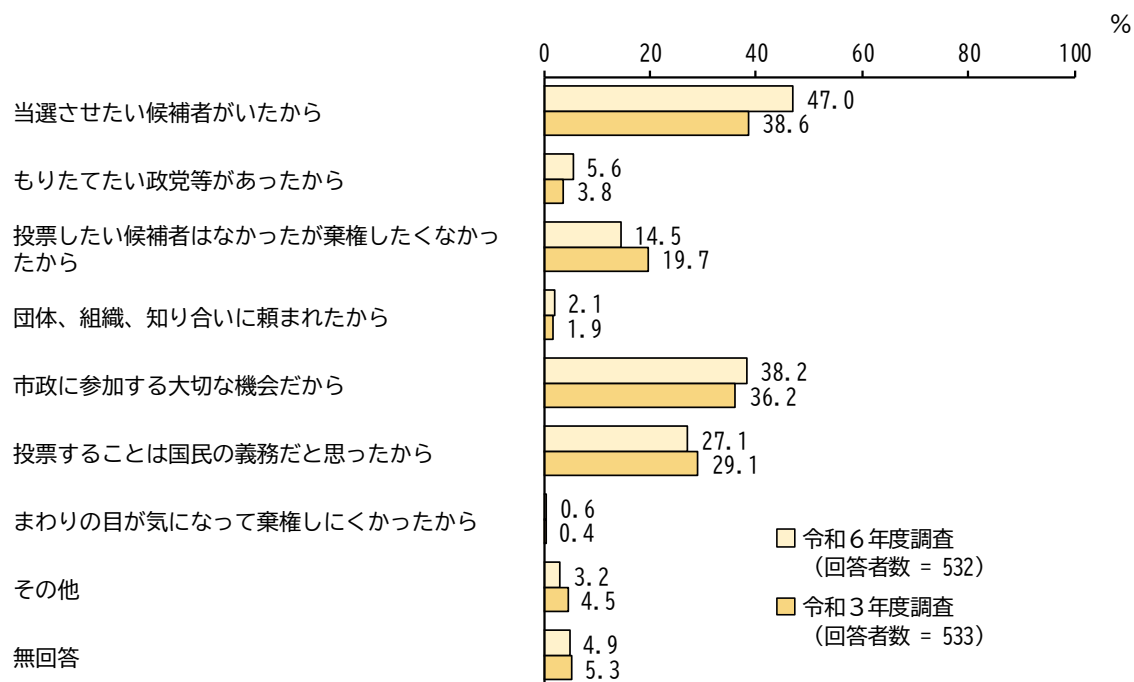
「投票に行った」の割合が75.2%、「投票に行かなかった」の割合が24.8%となっています。
令和3年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

投票所まで歩いてかかる所要時間別にみると、「投票に行かなかった」で、5分以内から20分以内にかけて高くなる傾向にあります。

名古屋市政についての関心度別にみると、「投票に行った」について関心がないで低くなっています。

[問 11 で「投票に行った」と答えた方に]

問 12 あなたが名古屋市長選挙の投票に行ったのは、どういう気持ちからですか。主な理由を2つまであげてください。(○印は2つまで)

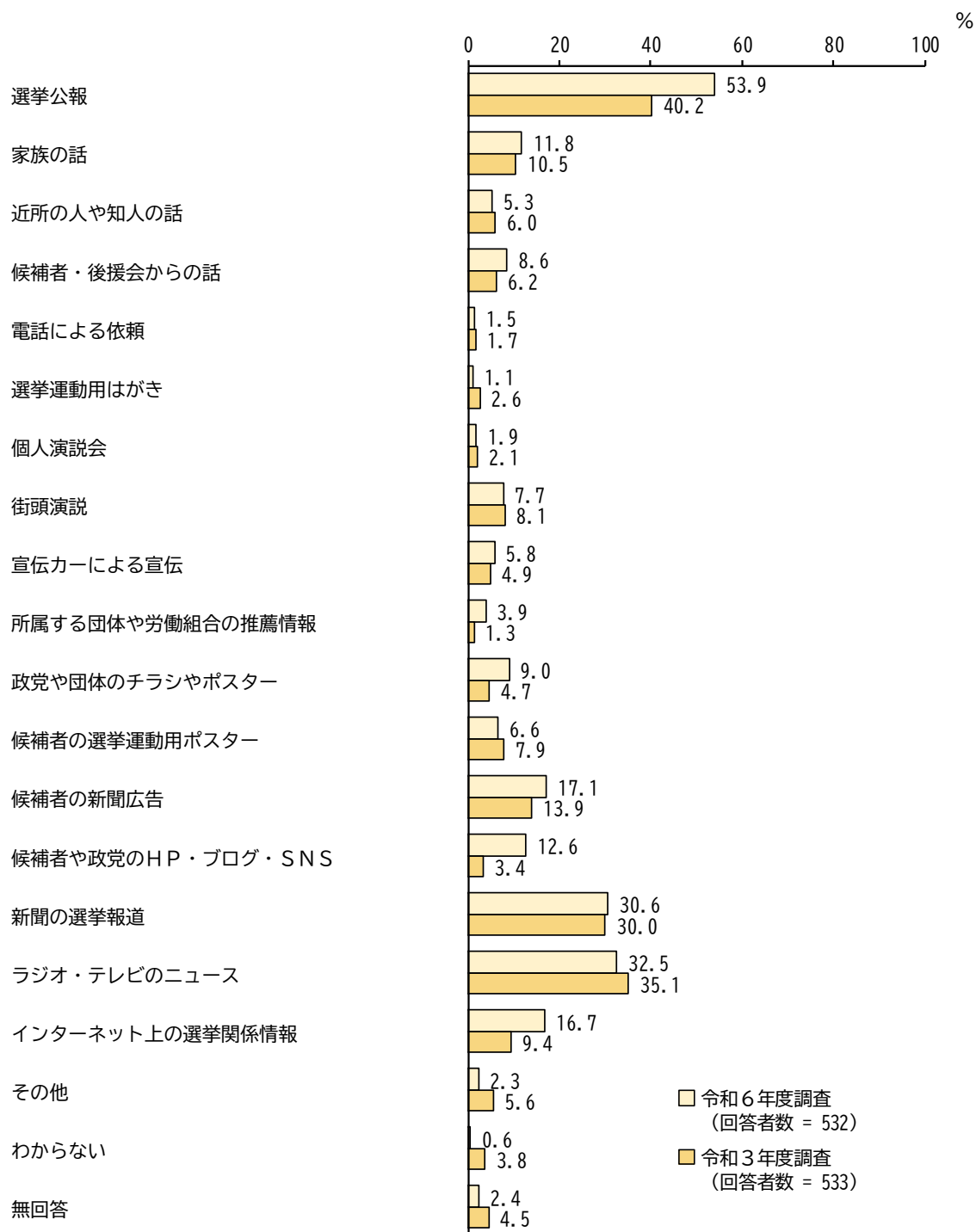


「当選させたい候補者がいたから」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「市政に参加する大切な機会だから」の割合が 38.2%、「投票することは国民の義務だと思ったから」の割合が 27.1%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「当選させたい候補者がいたから」の割合が増加しています。一方、「投票したい候補者はなかったが棄権したくなかったから」の割合が減少しています。

[問 11 で「投票に行った」と答えた方に]

問 13 今回の名古屋市長選挙で見たり聞いたりしたものの中で、候補者を決める参考となったものがこの中にあれば、いくつでもあげてください。(○印はいくつでも)

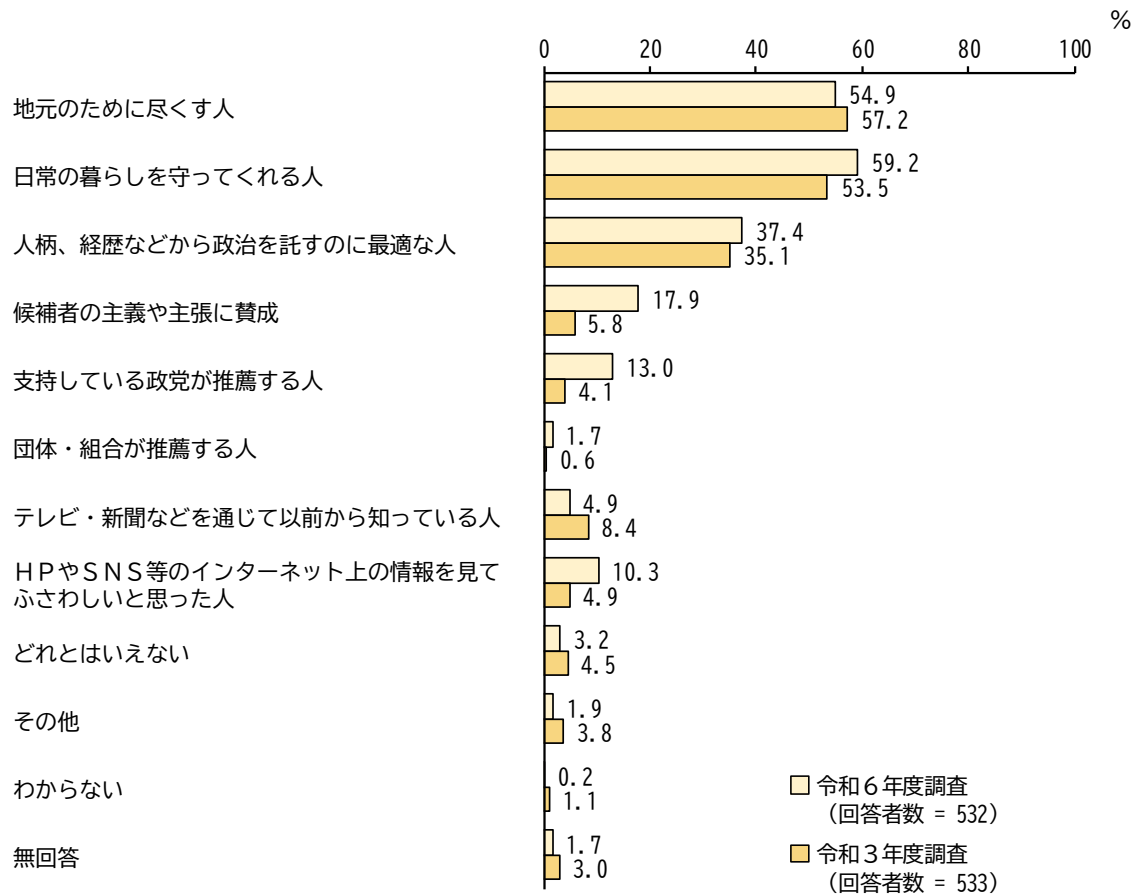


「選挙公報」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「ラジオ・テレビのニュース」の割合が 32.5%、「新聞の選挙報道」の割合が 30.6%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「選挙公報」「候補者や政党のHP・ブログ・SNS」「インターネット上の選挙関係情報」の割合が増加しています。

[問 11 で「投票に行った」と答えた方に]

問 14 あなたは今回の名古屋市長選挙で候補者を選ぶときどんな点を重く見て投票する人を決めましたか。(○印はいくつでも)

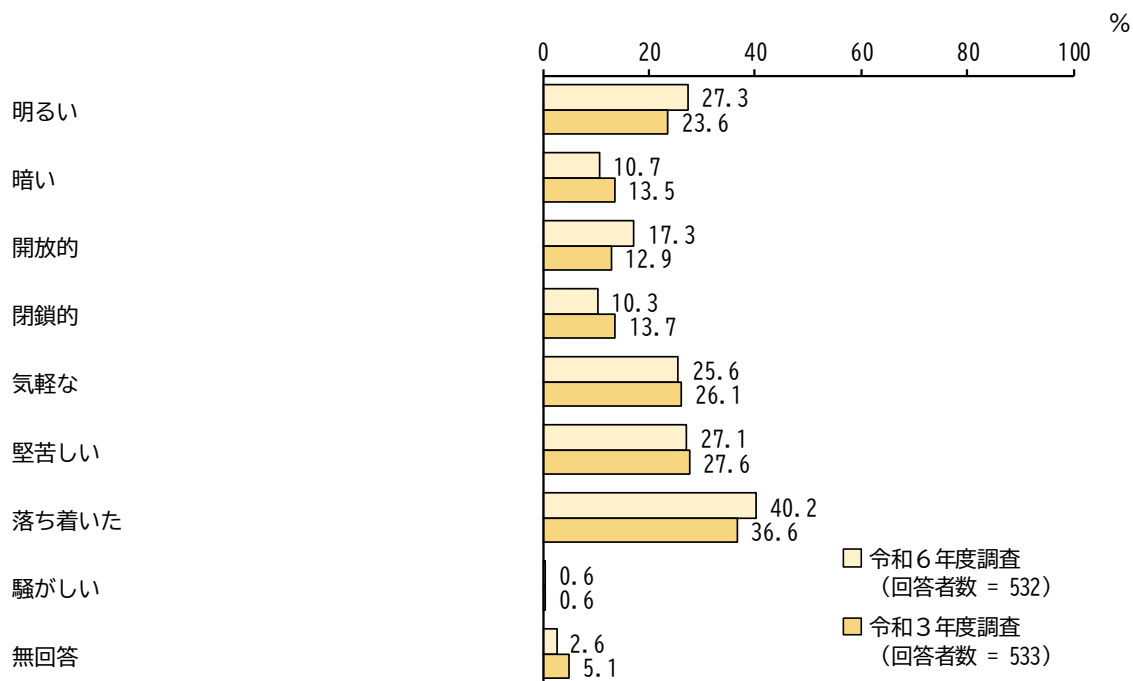


「日常の暮らしを守ってくれる人」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「地元のために尽くす人」の割合が 54.9%、「人柄、経歴などから政治を託すのに最適な人」の割合が 37.4%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「日常の暮らしを守ってくれる人」「候補者の主義や主張に賛成」「支持している政党が推薦する人」「HPやSNS等のインターネット上の情報を見てふさわしいと思った人」の割合が増加しています。

[問 11 で「投票に行った」と答えた方に]

問 15 投票所の雰囲気はどのように感じられましたか。この中から受けた印象をいくつかもお答えください。(○印はいくつでも)

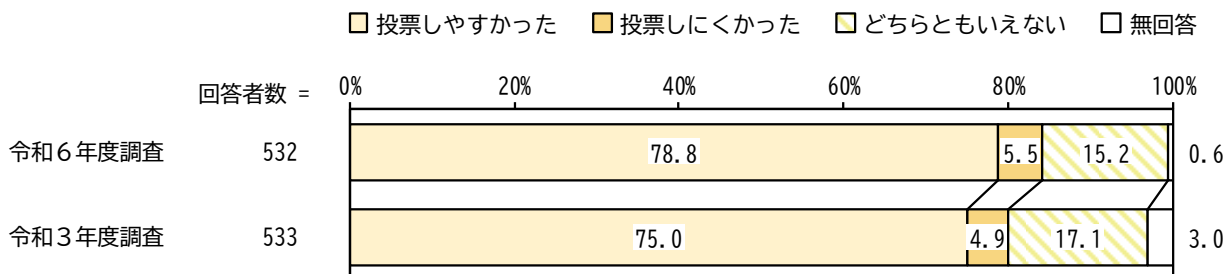


「落ち着いた」の割合が40.2%と最も高く、次いで「明るい」の割合が27.3%、「堅苦しい」の割合が27.1%となっています。

令和3年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

[問 11 で「投票に行った」と答えた方に]

問 16 投票所は総合的にみて投票しやすかったですか、それとも投票しにくかったですか。(○印は一つだけ)



「投票しやすかった」の割合が78.8%、「どちらともいえない」の割合が15.2%となっています。

令和3年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

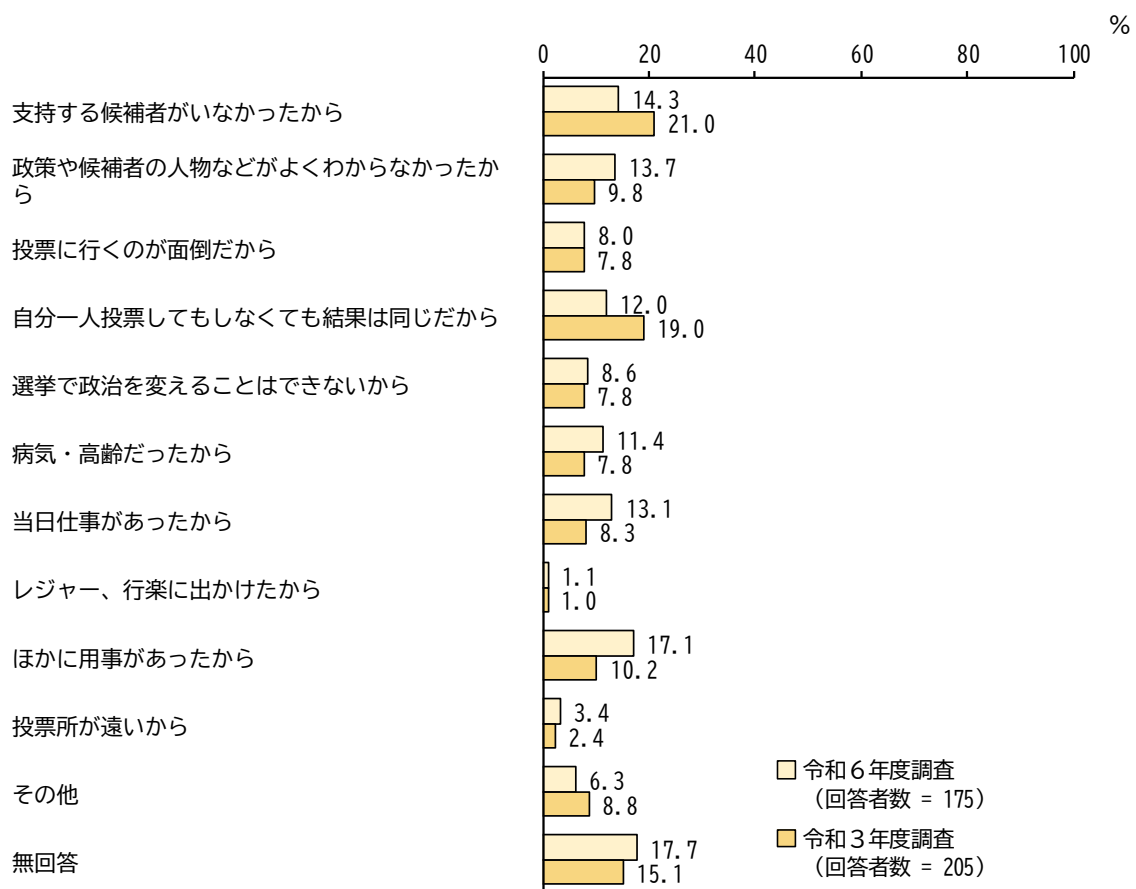
[問 16 で「投票しにくかった」「どちらともいえない」と答えた方に]

問 17 どうすれば投票所が投票しやすい雰囲気になるでしょうか。自由にお答えください。
(自由記入欄)

投票所のスペースを広くしてほしい、スーパーや駅など投票所以外の身近な施設でも投票できるようにしてほしいなどの意見がありました。

[問 11 で「投票に行かなかった」と答えた方に]

問 18 あなたが投票に行かなかったのはどういう気持ちからですか。主な理由を2つまであげてください。(○印は2つまで)

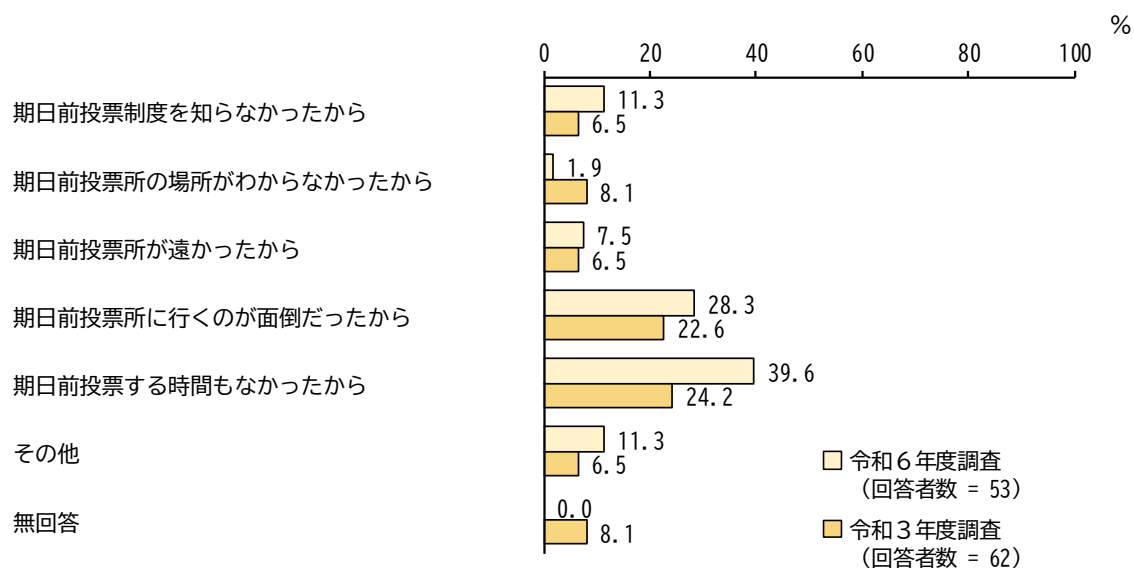


「ほかにも用事があったから」の割合が 17.1%と最も高く、次いで「支持する候補者がいなかったから」の割合が 14.3%、「政策や候補者の人物などがよくわからなかったから」の割合が 13.7%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「ほかにも用事があったから」の割合が増加しています。一方、「支持する候補者がいなかったから」「自分一人投票してもしなくても結果は同じだから」の割合が減少しています。

[問 18 で「当日仕事があったから」から「ほかに用事があったから」までに○をした方に]

問 19 期日前投票制度を利用しなかったのはなぜですか。(○印は一つだけ)



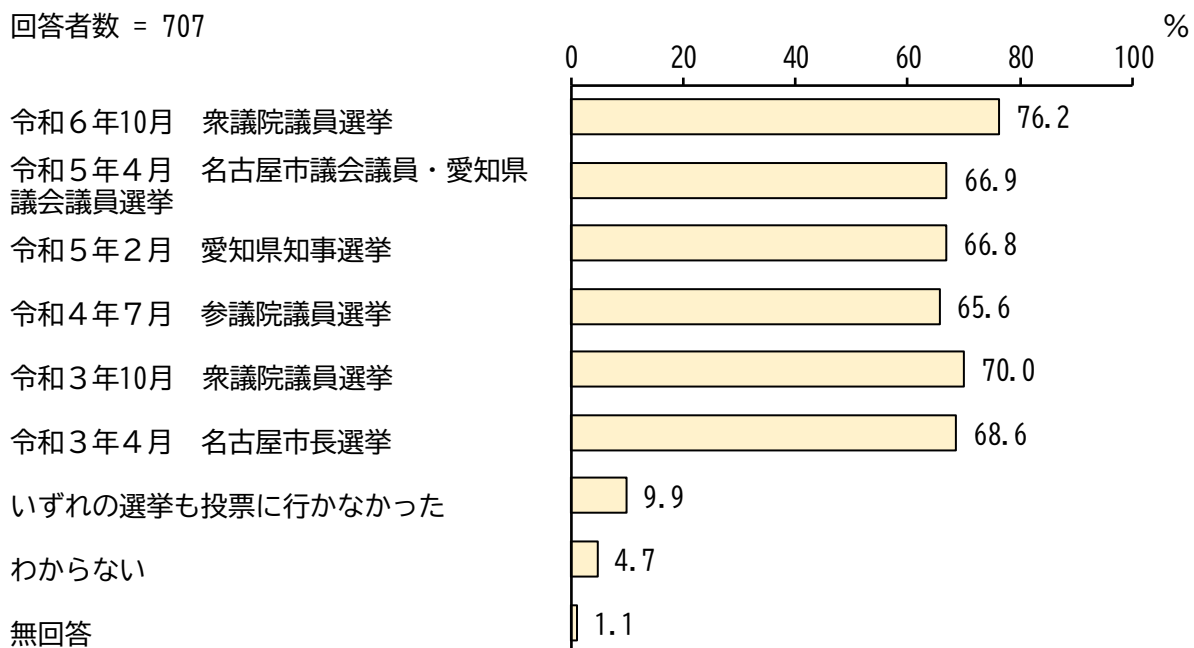
「期日前投票する時間もなかったから」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「期日前投票所に行くのが面倒だったから」の割合が 28.3%、「期日前投票制度を知らなかったから」の割合が 11.3%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「期日前投票所に行くのが面倒だったから」「期日前投票する時間もなかったから」の割合が増加しています。一方、「期日前投票所の場所がわからなかったから」の割合が減少しています。

[全ての方に]

問 20 この4年間に行われた次の選挙のうち、投票に行った選挙をすべてあげてください。
(○印はいくつでも)

回答者数 = 707

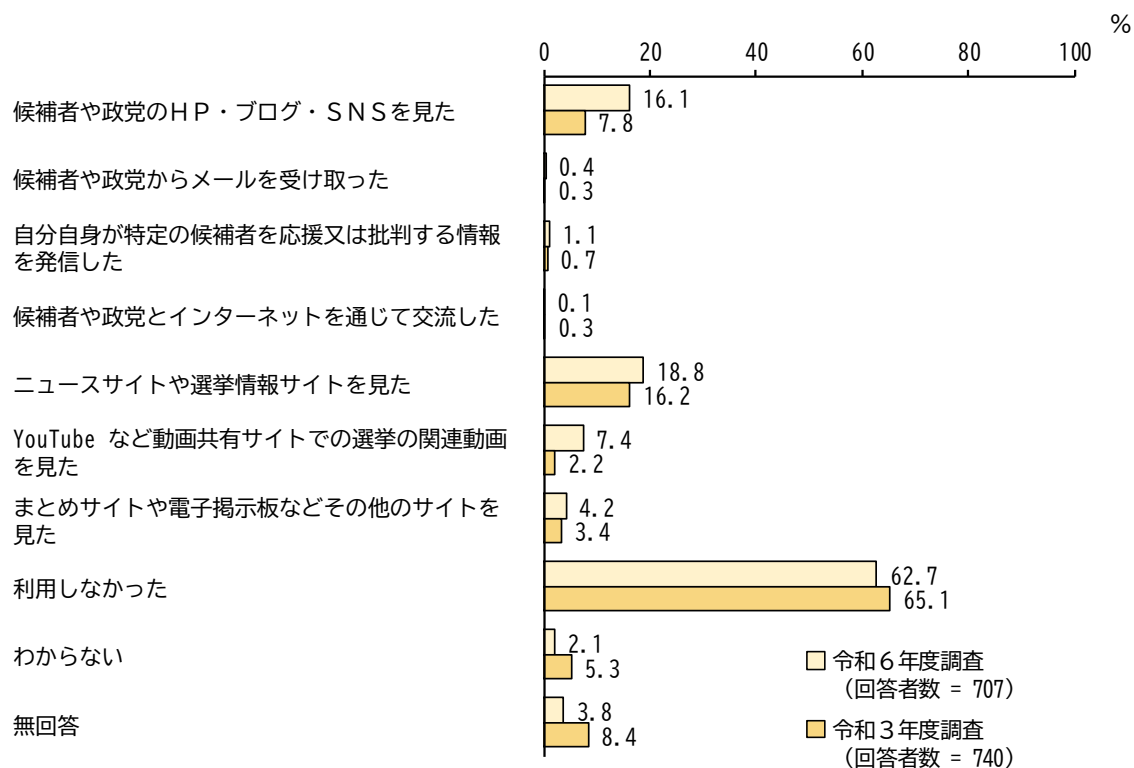


「令和6年10月 衆議院議員選挙」の割合が76.2%と最も高く、次いで「令和3年10月 衆議院議員選挙」の割合が70.0%、「令和3年4月 名古屋市長選挙」の割合が68.6%となっています。

5 インターネット選挙情報の活用について

[全ての方に]

問 21 あなたは今回の名古屋市長選挙に関して、インターネットをどのように利用しましたか。(〇印はいくつでも)



「利用しなかった」の割合が 62.7%と最も高く、次いで「ニュースサイトや選挙情報サイトを見た」の割合が 18.8%、「候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た」の割合が 16.1%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た」「YouTube など動画共有サイトでの選挙の関連動画を見た」の割合が増加しています。

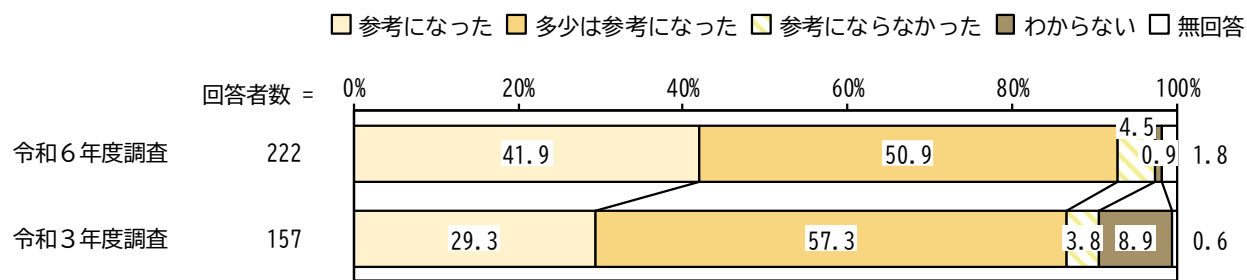
年齢階層別 今回の選挙に関するインターネットの利用

単位：％

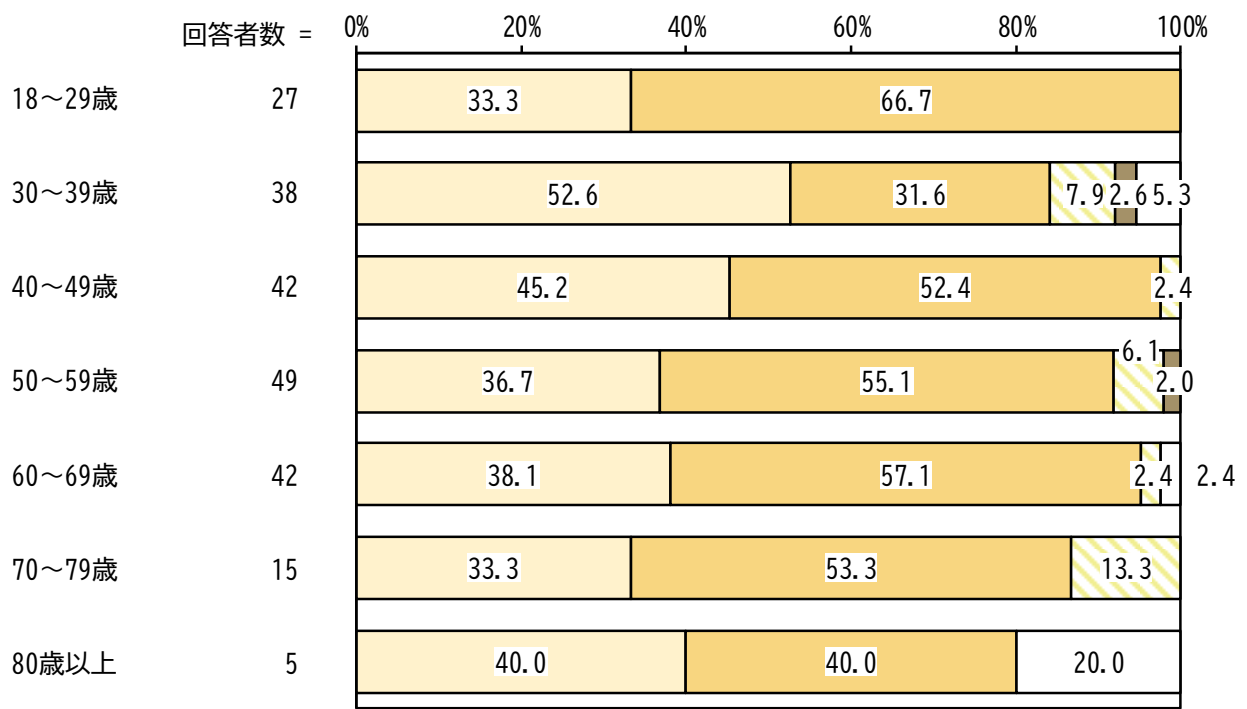
区分	回答者数 (件)	候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た	候補者や政党からメールを受け取った	自分自身が特定の候補者を応援又は批判する情報を発信した	候補者や政党とインターネットを通じて交流した	ニュースサイトや選挙情報サイトを見た	YouTubeなど動画共有サイトでの選挙の関連動画を見た	まとめサイトや電子掲示板などその他のサイトを見た	利用しなかった	わからない	無回答
全 体	707	16.1	0.4	1.1	0.1	18.8	7.4	4.2	62.7	2.1	3.8
18～29歳	44	31.8	—	—	—	40.9	6.8	6.8	36.4	2.3	—
30～39歳	77	28.6	—	1.3	—	36.4	13.0	9.1	46.8	3.9	—
40～49歳	86	24.4	1.2	2.3	1.2	31.4	9.3	7.0	50.0	1.2	—
50～59歳	149	15.4	0.7	—	—	20.1	10.1	4.0	65.8	0.7	0.7
60～69歳	149	14.1	0.7	1.3	—	14.1	7.4	4.0	70.5	—	1.3
70～79歳	137	6.6	—	—	—	5.1	2.9	1.5	73.7	5.8	9.5
80歳以上	52	1.9	—	3.8	—	3.8	—	—	71.2	1.9	17.3

[問 21 で「候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た」から「まとめサイトや電子掲示板などその他のサイトを見た」までに○をした方に]

問 22 インターネット上の情報は、投票に関して参考になりましたか。(○印は一つだけ)



年齢階層別 インターネット上の情報の有用性



「多少は参考になった」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「参考になった」の割合が 41.9%となっています。

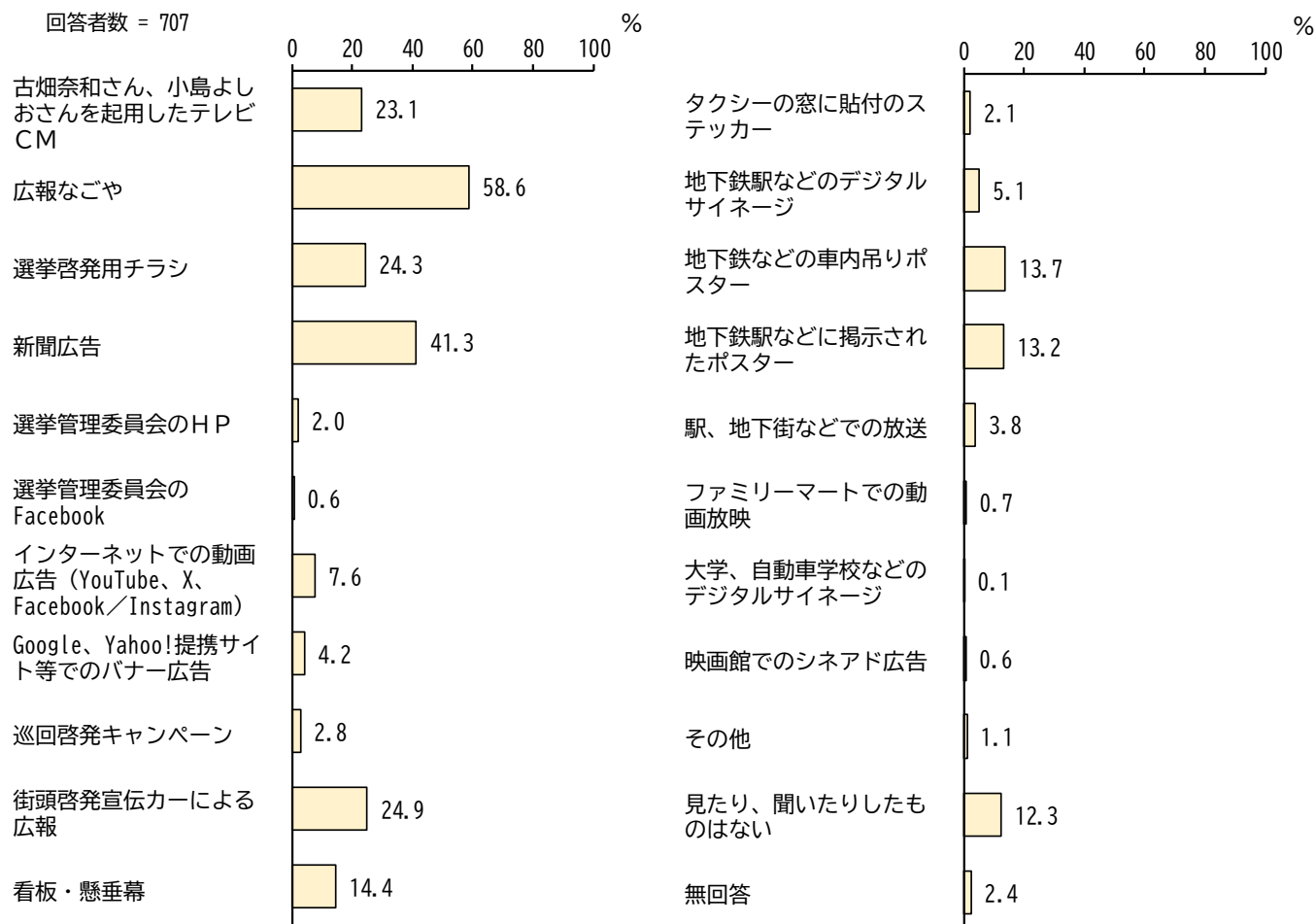
令和3年度調査と比較すると、「参考になった」の割合が増加しています。一方、「多少は参考になった」「わからない」の割合が減少しています。

年齢階層別にみると、「参考になった」で、30～39 歳から 70～79 歳にかけて低くなる傾向にあります。

6 名古屋市長選挙の啓発事業について

[全ての方に]

問 23 選挙管理委員会では、いろいろな方法で今回の名古屋市長選挙での投票を呼びかけましたが、その中であなたが見たり聞いたりしたものを、この中から全てあげてください。
(○印はいくつでも)



「広報なごや」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「新聞広告」の割合が 41.3%、「街頭啓発宣伝カーによる広報」の割合が 24.9%となっています。

年齢階層別 今回の選挙の啓発事業の中で見聞きしたもの

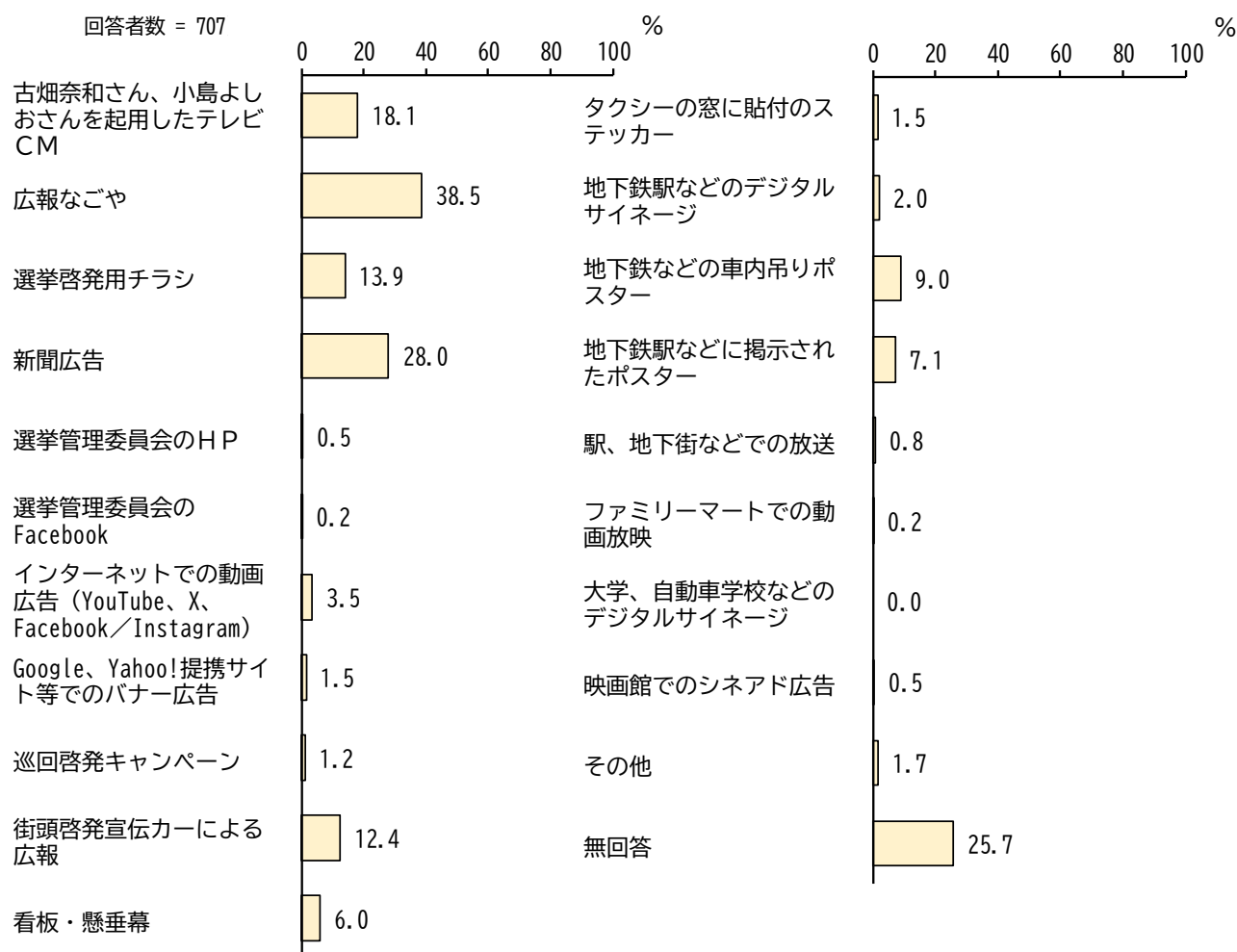
単位：％

区分	回答者数 (件)	古畑奈和さん、小島よしおさんを起用したテレビCM	広報なごや	選挙啓発用チラシ	新聞広告	選挙管理委員会のHP	選挙管理委員会のFacebook	インターネットでの動画広告(YouTube、X、Facebook、Instagram)	Google、Yahoo!提携サイト等でのバナー広告	巡回啓発キャンペーン	街頭啓発宣伝カーによる広報	看板・懸垂幕
全 体	707	23.1	58.6	24.3	41.3	2.0	0.6	7.6	4.2	2.8	24.9	14.4
18～29歳	44	27.3	18.2	18.2	18.2	2.3	—	15.9	18.2	—	20.5	9.1
30～39歳	77	18.2	45.5	24.7	20.8	6.5	—	15.6	7.8	—	22.1	13.0
40～49歳	86	29.1	55.8	22.1	16.3	2.3	1.2	10.5	7.0	5.8	33.7	10.5
50～59歳	149	27.5	57.0	19.5	34.9	0.7	—	6.0	4.0	2.7	20.8	14.1
60～69歳	149	29.5	71.1	24.8	54.4	0.7	—	6.0	2.0	2.7	28.2	15.4
70～79歳	137	12.4	65.7	29.2	62.0	1.5	1.5	5.1	0.7	4.4	27.7	18.2
80歳以上	52	13.5	65.4	34.6	55.8	3.8	1.9	—	—	1.9	13.5	13.5

区分	タクシーの窓に貼付のステッカー	地下鉄駅などのデジタルサイネージ	地下鉄などの車内吊りポスター	地下鉄駅などに掲示されたポスター	送 駅、地下街などの放送	ファミリーマートでの動画放映	大学、自動車学校などのデジタルサイネージ	映画館でのシネアド広告	その他	見たり、聞いたりしたものはない	無回答
全 体	2.1	5.1	13.7	13.2	3.8	0.7	0.1	0.6	1.1	12.3	2.4
18～29歳	—	9.1	22.7	15.9	13.6	2.3	—	—	—	15.9	2.3
30～39歳	3.9	11.7	19.5	23.4	5.2	2.6	—	—	1.3	19.5	1.3
40～49歳	3.5	7.0	14.0	14.0	5.8	—	—	1.2	1.2	11.6	1.2
50～59歳	1.3	2.7	14.1	15.4	5.4	0.7	—	—	2.0	17.4	1.3
60～69歳	3.4	3.4	12.1	10.7	1.3	0.7	—	1.3	0.7	9.4	0.7
70～79歳	0.7	5.1	10.9	10.2	1.5	—	0.7	—	1.5	5.8	5.1
80歳以上	1.9	—	9.6	5.8	—	—	—	—	—	11.5	3.8

〔問 23 で「古畑奈和さん、小島よしおさんを起用したテレビCM」から「その他」までに○をした方に〕

問 24 特に印象に残っている事業の番号を、3つまであげてください。

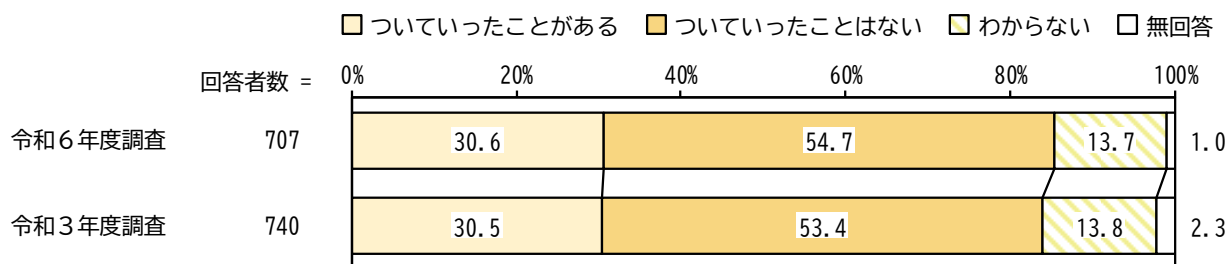


「広報なごや」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「新聞広告」の割合が 28.0%、「古畑奈和さん、小島よしおさんを起用したテレビCM」の割合が 18.1%となっています。

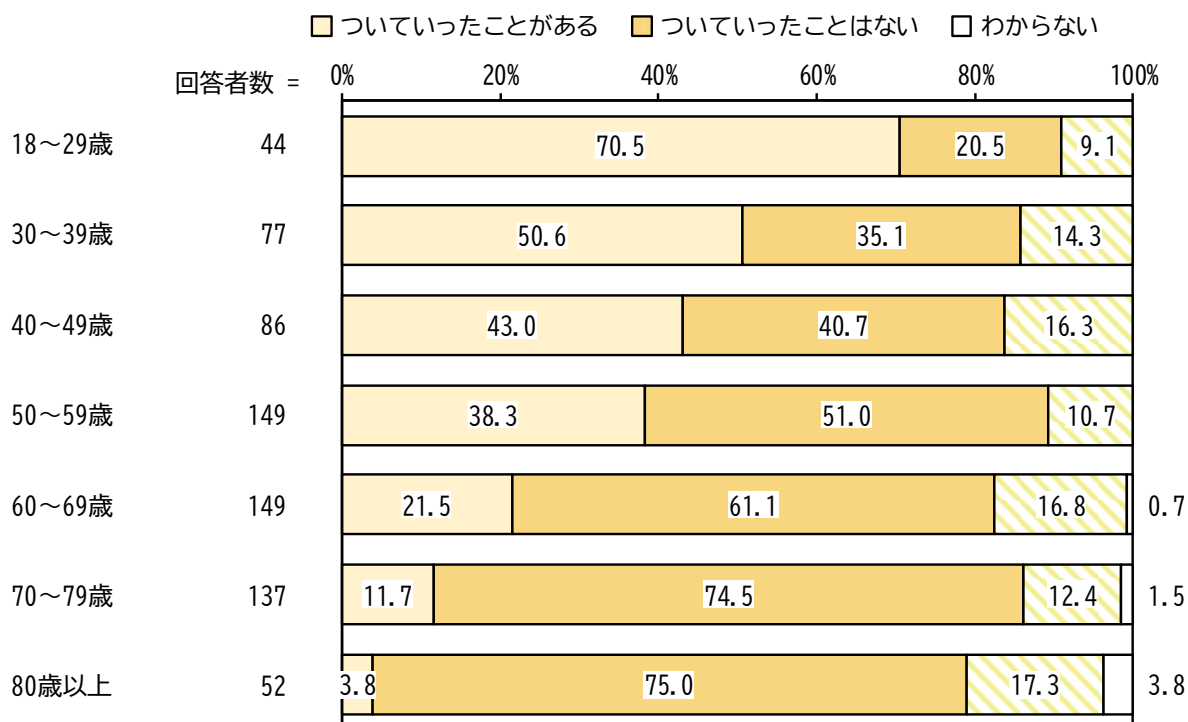
7 明るい選挙の推進について

[全ての方に]

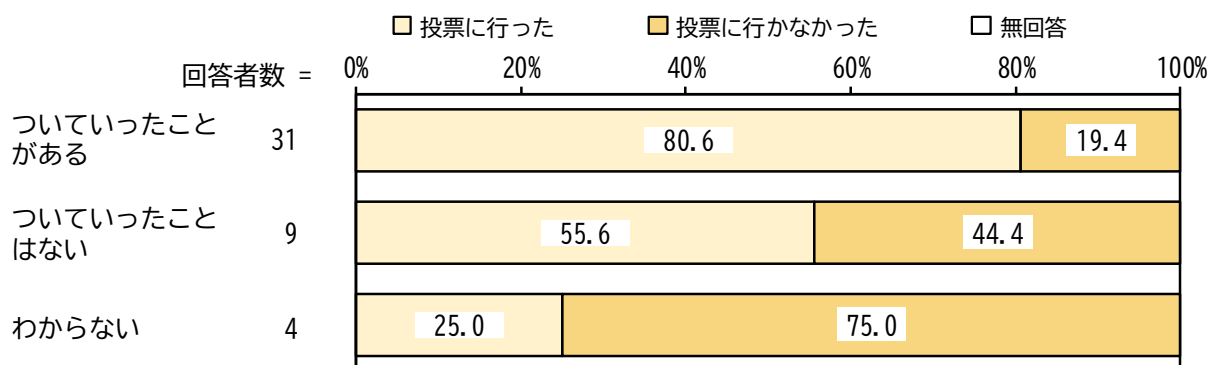
問 25 あなたは子どものころ、親御さんの投票についていったことがありますか。
(○印は一つだけ)



年齢階層別 保護者の投票へついていったことの有無



子どもの頃、親の投票への付き添いの有無別 投票行動の有無（18～29歳）



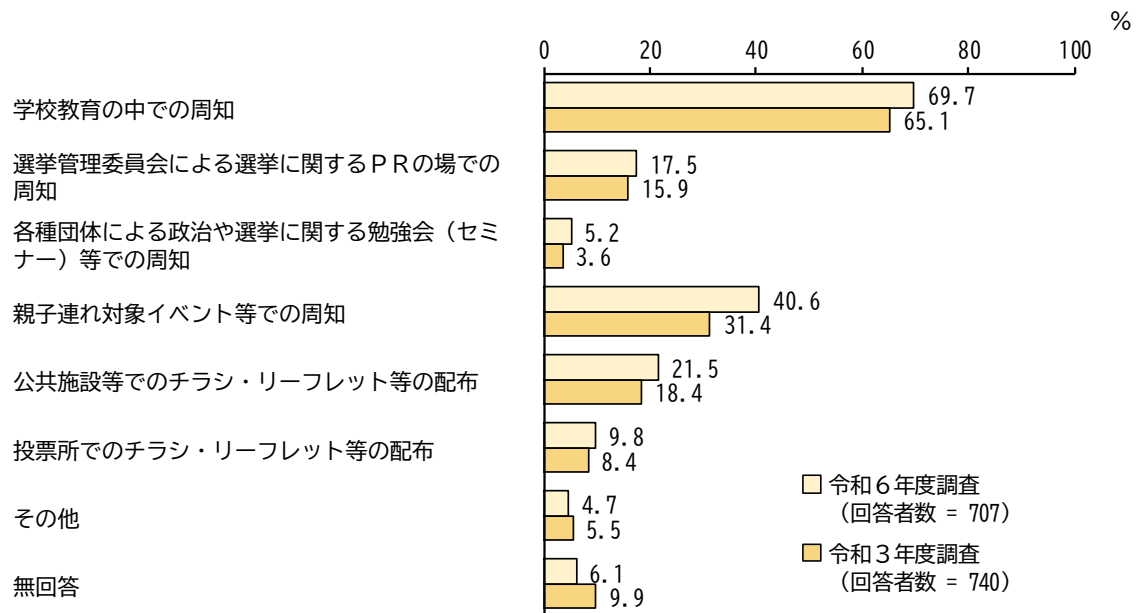
「ついていったことがある」の割合が30.6%、「ついていったことはない」の割合が54.7%、「わからない」の割合が13.7%となっています。

令和3年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

年齢階層別にみると、「ついていったことはない」で、18～29歳から80歳以上にかけて高くなる傾向にあります。

[全ての方に]

問 26 総務省の調査によると、子どもの頃に有権者と一緒に投票所に行ったことのある人は、その後投票に行く割合が高いという結果が出ています。この調査結果を踏まえて、このことをより多くの人に知ってもらうためには、どのように周知していけばよいと思いますか。(〇印はいくつでも)



「学校教育の中での周知」の割合が 69.7%と最も高く、次いで「親子連れ対象イベント等での周知」の割合が 40.6%、「公共施設等でのチラシ・リーフレット等の配布」の割合が 21.5%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「親子連れ対象イベント等での周知」の割合が増加しています。

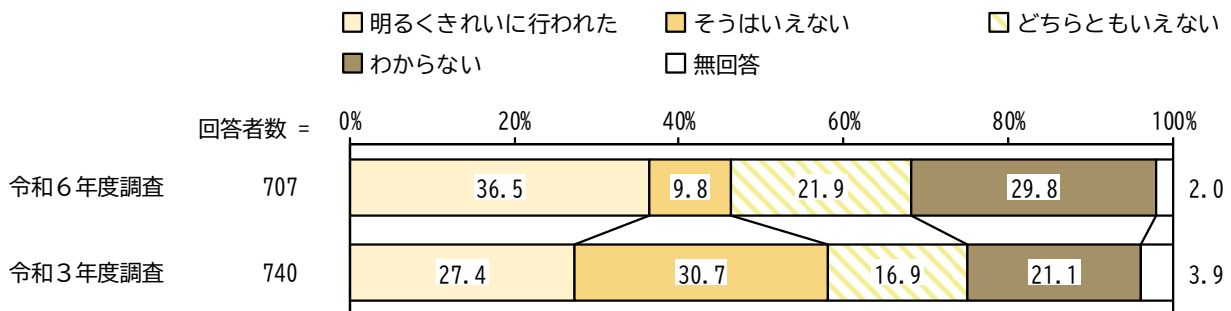
[全ての方に]

問 27 選挙管理委員会では、投票日周知や投票総参加の呼びかけのため、様々な啓発活動を行っています。より多くの有権者の方に投票に参加していただけるよう、効果的な啓発方法についてご提案があれば、自由にお書きください。(自由記入欄)

SNS を活用した情報発信、子どもに政治に興味や関心を持ってもらう機会を増やす(学校教育など)、投票すると特典がもらえるようにする(スタンプなど)、オンライン投票の導入の検討などの意見がありました。

[全ての方に]

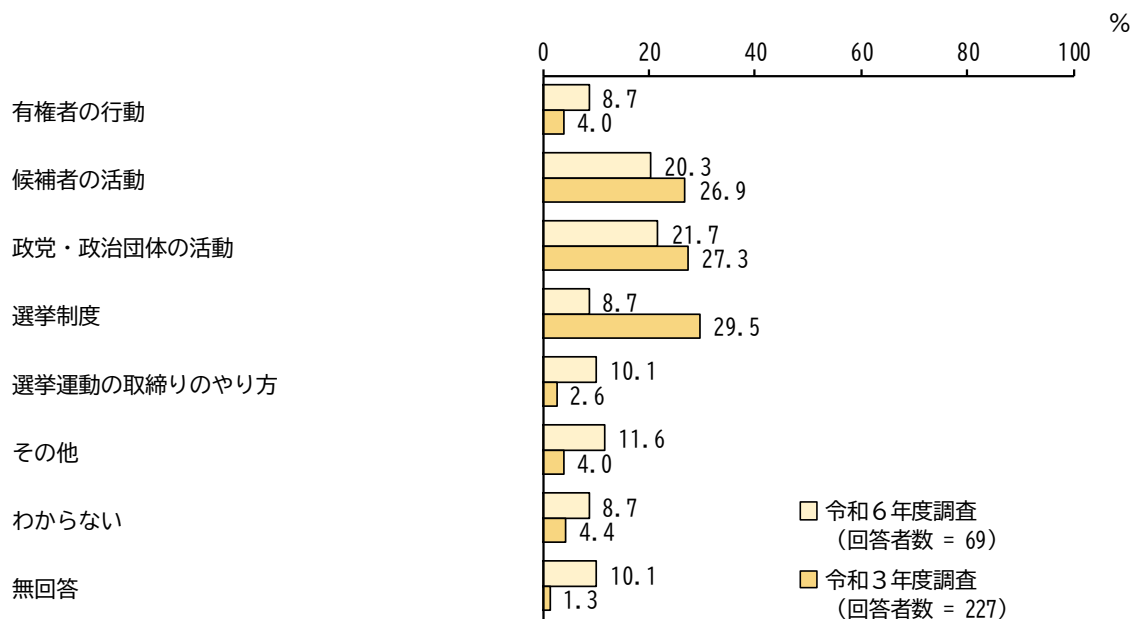
問 28 今回の選挙では全体として明るくきれいな選挙が行われたと思いますか。そうは言えないと思いますか。(○印は1つまで)



「明るくきれいに行われた」の割合が36.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が29.8%、「どちらともいえない」の割合が21.9%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「明るくきれいに行われた」「わからない」の割合が増加しています。一方、「そうはいえない」の割合が減少しています。

「2 そうはいえない」に○をした場合は主として何に責任があると思いますか。(○印は1つまで)

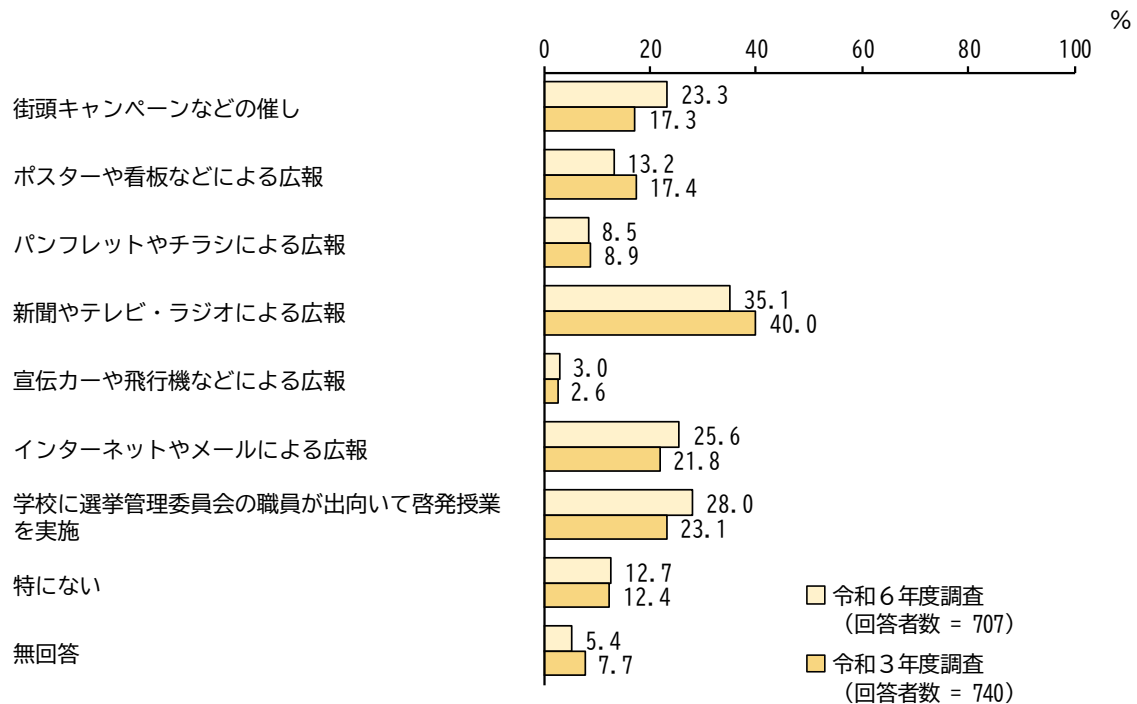


「政党・政治団体の活動」の割合が21.7%と最も高く、次いで「候補者の活動」の割合が20.3%、「選挙運動の取締りのやり方」の割合が10.1%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「選挙運動の取締りのやり方」の割合が増加しています。一方、「候補者の活動」「政党・政治団体の活動」「選挙制度」の割合が減少しています。

[全ての方に]

問 29 今後の啓発活動でもっと力をいれると良いと思われるものを2つ選んでください。
(○印は2つまで)



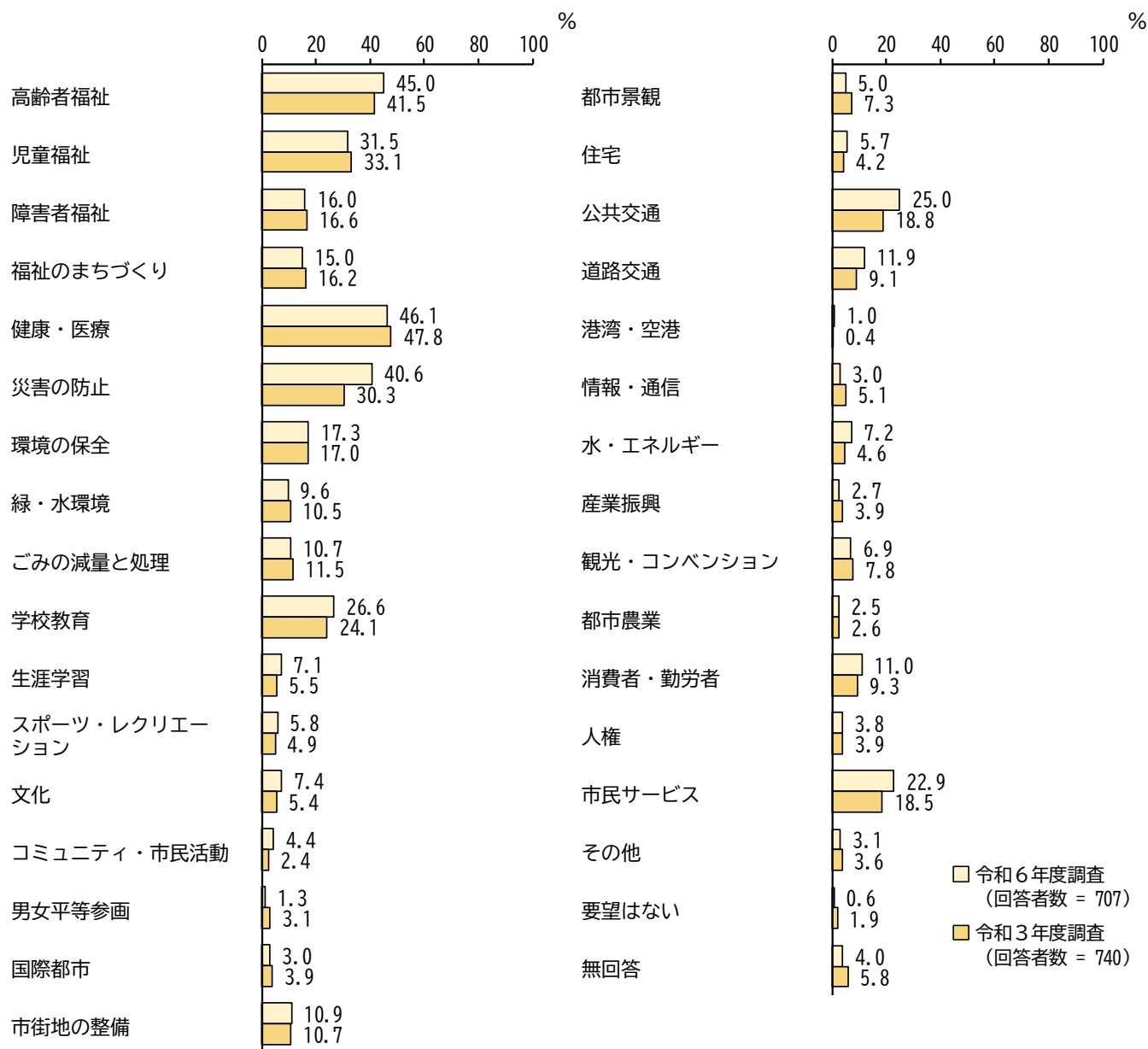
「新聞やテレビ・ラジオによる広報」の割合が 35.1%と最も高く、次いで「学校に選挙管理委員会の職員が出向いて啓発授業を実施」の割合が 28.0%、「インターネットやメールによる広報」の割合が 25.6%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「街頭キャンペーンなどの催し」の割合が増加しています。

8 市政等への要望について

[全ての方に]

問 30 名古屋市に対して、あなたが今後力を入れて欲しい事業の分野を次の中から5つまで選んでください。(○印は5つまで)



「健康・医療」の割合が 46.1%と最も高く、次いで「高齢者福祉」の割合が 45.0%、「災害の防止」の割合が 40.6%となっています。

令和3年度調査と比較すると、「災害の防止」「公共交通」の割合が増加しています。

Ⅲ 調査票

返信用封筒が同封されています



令和6年11月24日執行
「名古屋市長選挙における名古屋市民の意識調査」
ご協力をお願い

調査期間 令和7年2月10日～2月24日

名古屋市選挙管理委員会

この度、名古屋市選挙管理委員会では、選挙啓発事業の一層の充実を図るため、有権者の皆様の選挙における投票行動や意識についての調査を実施することになりました。

この調査は、住民基本台帳から無作為抽出で選ばれた名古屋市内の有権者の方を対象にしております。

ここでお願いいただいたことは、コンピューターを使って統計的に処理しますので、個人の名前が出るなどご迷惑をおかけすることは絶対にございません。

ご多忙の折に誠に恐縮ですが、調査の公共性をご理解いただき、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

ご回答の方法

◇インターネットによる回答

- ・右下の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスしIDを入力して

2月24日（月曜日）までにご回答ください。

※IDはくりかえしの回答を防ぐもので、だれが回答したかわかるものではありません。
インターネットでご回答いただく場合は、調査票の返送は不要です。

https://www15.webcas.net/form/pub/websurvey/nagoya_shichosenkyo

ID: 12345



◇調査票による回答

- ・ご回答は問1から順に該当する番号に○印をつけながらお進めください。
- ・ご記入には、鉛筆・ボールペンなど何をお使いいただいてもかまいません。
- ・この調査票は、ご住所お名前を書いていただく必要はありません。
- ・記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに

2月24日（月曜日）までに郵便ポストに投函してください。

★ご不明な点がありましたら、お手数ですが担当までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

名古屋市選挙管理委員会事務局選挙課 担当：西野、酒井

電話：（０５２）９７２－３３１６（直通）

メール：a3316@senkyokanri.city.nagoya.lg.jp



名古屋市の明るい選挙
マスコット「クリタン」

1 最初に暮らしと政治への関心についてお伺いします。

【全ての方に】 問1 あなたは、名古屋市政について、どの程度関心がありますか、それとも関心がありませんか。 (○印は一つだけ)	1 関心がある 2 どちらかといえば関心がある 3 どちらかといえば関心がない 4 関心がない 5 わからない
【全ての方に】 問2 あなたは日頃、名古屋市政について、どの程度満足していますか、それとも満足していませんか。 (○印は一つだけ)	1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらかといえば不満である 4 不満である 5 わからない
【全ての方に】 問3 あなたは、ご自分の不満や要求を政治に反映させるためにここ1～2年の間に何かしましたか。 (○印はいくつでも)	1 政党に入って活動している 2 団体の政治活動に参加した 3 陳情・請願をした 4 地元の有力者に働きかけた 5 デモや集会に参加した 6 署名した 7 カンパ・献金をした 8 テレビ・新聞・雑誌などに投書した 9 電子メールを送信した 10 ウェブサイトなどに書き込みをした 11 特にしたことはない、覚えていない 12 政治に対する不満や要求はない

2 投票に対する意識についてお伺いします。

【全ての方に】 問4 あなたは選挙での投票について、次の中のどれに近い考えをお持ちですか。 (○印は一つだけ)	1 投票することは国民の義務である 2 投票することは国民の権利であるが、棄権すべきではない 3 投票する、しないは個人の自由である 4 わからない
【全ての方に】 問5 あなたはご自分の投票について、次のどちらの気持ちを強く感じますか。 (○印は一つだけ)	1 自分たちの一票一票が積み重なって市政を動かしている 2 自分たちの一票を投じて、市政の方針は変わらない 3 わからない

【全ての方に】 問6 この6つの選挙の中であなたが特に 関心を持っている選挙を2つまであげ てください。 (○印は2つまで)	1 衆議院議員選挙 2 参議院議員選挙 3 愛知県知事選挙 4 愛知県議会議員選挙 5 名古屋市長選挙 6 名古屋市議会議員選挙 7 どれにも関心がない
【全ての方に】 問7 あなたは普段、どの政党等を支持し ていますか。さしつかえなければお聞 かせください。 (○印は一つだけ) (政党名は令和6年11月24日時点)	1 自由民主党 2 立憲民主党 3 日本維新の会 4 公明党 5 国民民主党 6 れいわ新選組 7 日本共産党 8 参政党 9 日本保守党 10 社会民主党 11 みんなでつくる党 12 減税日本 13 その他(具体的に) 14 特にな 15 わからない・無回答
【全ての方に】 問8 あなたは今後、若年層の政治や選挙 に関する意識を高めるためにはどのよ うにしたらよいと思いますか。 (○印はいくつでも)	1 政治や選挙についての学校教育の充実 2 選挙管理委員会による選挙に関する PRの充実 3 各種団体による政治や選挙に関する勉強 会(セミナー)等への参加 4 政治や選挙に関する家庭内での積極的な 話し合い 5 新聞やテレビ等での政治や選挙に関する 分かりやすい報道との接触 6 政党や政治団体などが行う活動との接触 7 親や家族が投票に行く 8 その他() 9 わからない

3 名古屋市長選挙での投票行動についてお伺いします。

【全ての方に】 問9 あなたは今回の名古屋市長選挙を何によって知りましたか。この中から全てあげてください。 (○印はいくつでも)	1 テレビ・ラジオの報道 2 新聞・雑誌の報道 3 インターネット上の選挙関係情報 4 候補者の選挙運動 5 選挙公報 6 候補者ポスター掲示場 7 選挙のお知らせ(選挙案内ハガキ) 8 広報なごや 9 選挙管理委員会実施の啓発事業 (ポスター、広報車、サイネージ広告など) 10 家族・知人・友人などから聞いて 11 その他(具体的に) 12 忘れた 13 選挙があることを知らなかった
【全ての方に】 問10 あなたは今回の名古屋市長選挙に関心がありましたか、それとも関心がありませんでしたか。 (○印は一つだけ)	1 関心があった 2 どちらかといえば関心があった 3 どちらかといえば関心がなかった 4 関心がなかった 5 わからない
【全ての方に】 問11 あなたは今回の名古屋市長選挙で投票に行きましたか、それとも行きませんでしたか。 (○印は一つだけ)	1 投票に行った →問12へ 2 投票に行かなかった →問18へ
【問11で「1 投票に行った」と答えた方に】 問12 あなたが名古屋市長選挙の投票に行ったのは、どういう気持ちからですか。主な理由を2つまであげてください。 (○印は2つまで)	1 当選させたい候補者がいたから 2 もりたてたい政党等があったから 3 投票したい候補者はなかったが棄権しなかったから 4 団体、組織、知り合いに頼まれたから 5 市政に参加する大切な機会だから 6 投票することは国民の義務だと思ったから 7 まわりの目が気になって棄権しにくかったから 8 その他(具体的に)

【問11で「1 投票に行った」と答えた方に】 問13 今回の名古屋市長選挙で見たり聞いたりしたもののうちで、候補者を決める参考となったものがこの中にあれば、いくつでもあげてください。 (○印はいくつでも)	1 選挙公報 2 家族の話 3 近所の人や知人の話 4 候補者・後援会からの話 5 電話による依頼 6 選挙運動用はがき 7 個人演説会 8 街頭演説 9 宣伝カーによる宣伝 10 所属する団体や労働組合の推薦情報 11 政党や団体のチラシやポスター 12 候補者の選挙運動用ポスター 13 候補者の新聞広告 14 候補者や政党のHP・ブログ・SNS 15 新聞の選挙報道 16 ラジオ・テレビのニュース 17 インターネット上の選挙関係情報 18 その他（具体的に) 19 わからない								
【問11で「1 投票に行った」と答えた方に】 問14 あなたは今回の名古屋市長選挙で候補者を選ぶときどんな点を重く見て投票する人を決めましたか。 (○印はいくつでも)	1 地元のために尽くす人 2 日常の暮らしを守ってくれる人 3 人柄、経歴などから政治を託すのに最適な人 4 候補者の主義や主張に賛成 （具体的に) 5 支持している政党が推薦する人 6 団体・組合が推薦する人 7 テレビ・新聞などを通じて以前から知っている人 8 HPやSNS等のインターネット上の情報を見てふさわしいと思った人 9 どれとはいえない 10 その他（具体的に) 11 わからない								
【問11で「1 投票に行った」と答えた方に】 問15 投票所の雰囲気はどのように感じられましたか。この中から受けた印象をいくつでもお答えください。 (○印はいくつでも)	<table border="0"> <tr> <td>1 明るい</td> <td>5 気軽な</td> </tr> <tr> <td>2 暗い</td> <td>6 堅苦しい</td> </tr> <tr> <td>3 開放的</td> <td>7 落ち着いた</td> </tr> <tr> <td>4 閉鎖的</td> <td>8 騒がしい</td> </tr> </table>	1 明るい	5 気軽な	2 暗い	6 堅苦しい	3 開放的	7 落ち着いた	4 閉鎖的	8 騒がしい
1 明るい	5 気軽な								
2 暗い	6 堅苦しい								
3 開放的	7 落ち着いた								
4 閉鎖的	8 騒がしい								

【問11で「1 投票に行った」と答えた方に】 問16 投票所は総合的にみて投票しやすかったですか、それとも投票しにくかったですか。 (○印は一つだけ)	1 投票しやすかった →問20へ 2 投票しにくかった →問17へ 3 どちらともいえない →問17へ
【問16で「2 投票しにくかった」「3 どちらともいえない」と答えた方に】 問17 どうすれば投票所が投票しやすい雰囲気になるでしょうか。自由にお答えください。	
【問11で「2 投票に行かなかった」と答えた方に】 問18 あなたが投票に行かなかったのはどういう気持ちからですか。主な理由を2つまであげてください。 (○印は2つまで)	1 支持する候補者がいなかったから →問20へ 2 政策や候補者の人物などがよくわからなかったから →問20へ 3 投票に行くのが面倒だから →問20へ 4 自分一人投票してもしなくても結果は同じだから →問20へ 5 選挙で政治を変えることはできないから 6 病気・高齢だったから →問20へ 7 当日仕事があったから →問19へ 8 レジャー、行楽に出かけたから →問19へ 9 ほかに用事があったから →問19へ 10 投票所が遠いから 11 その他（具体的に ）
【問18で「7から9」までに○をした方に】 問19 期日前投票制度を利用しなかったのはなぜですか。 (○印は一つだけ)	1 期日前投票制度を知らなかったから 2 期日前投票所の場所がわからなかったから 3 期日前投票所が遠かったから 4 期日前投票所に行くのが面倒だったから 5 期日前投票する時間もなかったから 6 その他（具体的に ）

【全ての方に】 問20 この4年間に行われた次の選挙のうち、投票に行った選挙をすべてあげてください。 (○印はいくつでも)	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>令和6年10月</td> <td>衆議院議員選挙</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>令和5年4月</td> <td>名古屋市議会議員・愛知県議会議員選挙</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>令和5年2月</td> <td>愛知県知事選挙</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>令和4年7月</td> <td>参議院議員選挙</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>令和3年10月</td> <td>衆議院議員選挙</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>令和3年4月</td> <td>名古屋市長選挙</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td colspan="2">いずれの選挙も投票に行かなかった</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td colspan="2">わからない</td> </tr> </table>	1	令和6年10月	衆議院議員選挙	2	令和5年4月	名古屋市議会議員・愛知県議会議員選挙	3	令和5年2月	愛知県知事選挙	4	令和4年7月	参議院議員選挙	5	令和3年10月	衆議院議員選挙	6	令和3年4月	名古屋市長選挙	7	いずれの選挙も投票に行かなかった		8	わからない	
1	令和6年10月	衆議院議員選挙																							
2	令和5年4月	名古屋市議会議員・愛知県議会議員選挙																							
3	令和5年2月	愛知県知事選挙																							
4	令和4年7月	参議院議員選挙																							
5	令和3年10月	衆議院議員選挙																							
6	令和3年4月	名古屋市長選挙																							
7	いずれの選挙も投票に行かなかった																								
8	わからない																								

4 インターネット選挙情報の活用についてお伺いします。

【全ての方に】 問21 あなたは今回の名古屋市長選挙に関して、インターネットをどのように利用しましたか。 (○印はいくつでも)	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>候補者や政党からメールを受け取った</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>自分自身が特定の候補者を応援又は批判する情報を発信した</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>候補者や政党とインターネットを通じて交流した</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ニュースサイトや選挙情報サイトを見た</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>YouTubeなど動画共有サイトでの選挙の関連動画を見た</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>まとめサイトや電子掲示板などその他のサイトを見た</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>利用しなかった →問23へ</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>わからない →問23へ</td> </tr> </table>	1	候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た	2	候補者や政党からメールを受け取った	3	自分自身が特定の候補者を応援又は批判する情報を発信した	4	候補者や政党とインターネットを通じて交流した	5	ニュースサイトや選挙情報サイトを見た	6	YouTubeなど動画共有サイトでの選挙の関連動画を見た	7	まとめサイトや電子掲示板などその他のサイトを見た	8	利用しなかった →問23へ	9	わからない →問23へ
1	候補者や政党のHP・ブログ・SNSを見た																		
2	候補者や政党からメールを受け取った																		
3	自分自身が特定の候補者を応援又は批判する情報を発信した																		
4	候補者や政党とインターネットを通じて交流した																		
5	ニュースサイトや選挙情報サイトを見た																		
6	YouTubeなど動画共有サイトでの選挙の関連動画を見た																		
7	まとめサイトや電子掲示板などその他のサイトを見た																		
8	利用しなかった →問23へ																		
9	わからない →問23へ																		
【問21で「1から7」までに○をした方に】 問22 インターネット上の情報は、投票に関して参考になりましたか。 (○印は一つだけ)	<table border="0"> <tr> <td>1</td> <td>参考になった</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>多少は参考になった</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>参考にならなかった</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>わからない</td> </tr> </table>	1	参考になった	2	多少は参考になった	3	参考にならなかった	4	わからない										
1	参考になった																		
2	多少は参考になった																		
3	参考にならなかった																		
4	わからない																		

5 名古屋市長選挙の啓発事業についてお伺いします。

【全ての方に】

問23 選挙管理委員会では、いろいろな方法で今回の名古屋市長選挙での投票を呼びかけましたが、その中であなたが見たり聞いたりしたものを、この中から全てあげてください。
(○印はいくつでも)



ポスター



Webバナー



街頭啓発宣伝カー

- 1 古畑奈和さん、小島よしおさんを起用したテレビCM
- 2 広報なごや
- 3 選挙啓発用チラシ
- 4 新聞広告
- 5 選挙管理委員会のHP
- 6 選挙管理委員会のFacebook
- 7 インターネットでの動画広告
(YouTube、X、Facebook/Instagram)
- 8 Google、Yahoo!提携サイト等でのバナー広告
- 9 巡回啓発キャンペーン
- 10 街頭啓発宣伝カーによる広報
- 11 看板・懸垂幕
- 12 タクシーの窓に貼付のステッカー
- 13 地下鉄駅などのデジタルサイネージ
- 14 地下鉄などの車内吊りポスター
- 15 地下鉄駅などに掲示されたポスター
- 16 駅、地下街などでの放送
- 17 ファミリーマートでの動画放映
- 18 大学、自動車学校などのデジタルサイネージ
- 19 映画館でのシネアド広告
- 20 その他（具体的に)
- 21 見たり、聞いたりしたものはない

【問23で「1 から20」までに○をした方に】

問24 特に印象に残っている事業の番号を、3つまであげてください。

() ・ () ・ ()

6 明るい選挙の推進についてお伺いします。

【全ての方に】 問25 あなたは子どものころ、親御さんの投票についていったことがありますか。 (○印は一つだけ)	1 ついていったことがある 2 ついていったことはない 3 わからない
【全ての方に】 問26 総務省の調査によると、子どもの頃に有権者と一緒に投票所に行ったことのある人は、その後投票に行く割合が高いという結果が出ています。 この調査結果を踏まえて、このことをより多くの人に知ってもらうためには、どのように周知していけばよいと思いますか。 (○印はいくつでも)	1 学校教育の中での周知 2 選挙管理委員会による選挙に関するPRの場での周知 3 各種団体による政治や選挙に関する勉強会(セミナー)等での周知 4 親子連れ対象イベント等での周知 5 公共施設等でのチラシ・リーフレット等の配布 6 投票所でのチラシ・リーフレット等の配布 7 その他(具体的に)
【全ての方に】 問27 選挙管理委員会では、投票日周知や投票総参加の呼びかけのため、様々な啓発活動を行っています。 より多くの有権者の方に投票に参加していただけるよう、効果的な啓発方法についてご提案があれば、自由にお書きください。	
【全ての方に】 問28 今回の選挙では全体として明るくきれいな選挙が行われたと思いますか。そうは言えないと思いますか。 (○印は1つまで) 「2 そうはいえない」に○をした場合は主として何に責任があると思いますか。 (○印は1つまで)	1 明るくきれいに行われた 2 そうはいえない(以下の1つに○) 1 有権者の行動 2 候補者の活動 3 政党・政治団体の活動 4 選挙制度 5 選挙運動の取締りのやり方 6 その他(具体的に) 7 わからない 3 どちらともいえない 4 わからない

【全ての方に】 問29 今後の啓発活動でもっと力をいれ ると良いと思われるものを2つ選ん でください。 (○印は2つまで)	1 街頭キャンペーンなどの催し 2 ポスターや看板などによる広報 3 パンフレットやチラシによる広報 4 新聞やテレビ・ラジオによる広報 5 宣伝カーや飛行機などによる広報 6 インターネットやメールによる広報 7 学校に選挙管理委員会の職員が出向いて啓発授業を実施 8 特にない
--	---

7 市政等への要望についてお伺いします。

【全ての方に】 問30 名古屋市政に対して、あなたが今後 力を入れて欲しい事業の分野を次の中 から5つまで選んでください。 (○印は5つまで)	1 高齢者福祉 2 児童福祉 3 障害者福祉 4 福祉のまちづくり 5 健康・医療 6 災害の防止 7 環境の保全 8 緑・水環境 9 ごみの減量と処理 10 学校教育 11 生涯学習 12 スポーツ・レクリエーション 13 文化 14 コミュニティ・市民活動 15 男女平等参画 16 国際都市 17 市街地の整備 18 都市景観 19 住宅 20 公共交通 21 道路交通 22 港湾・空港 23 情報・通信 24 水・エネルギー 25 産業振興 26 観光・コンベンション 27 都市農業 28 消費者・勤労者 29 人権 30 市民サービス 31 その他（具体的に 32 要望はない
--	--

[全ての方に伺います]

- 11 -

F5 あなたは名古屋市にお住みになって何年くらいになりますか。 (○印は一つだけ)	<table border="0"> <tr> <td>1 1年未満</td> <td>6 15年以上20年未満</td> </tr> <tr> <td>2 1年以上3年未満</td> <td>7 20年以上25年未満</td> </tr> <tr> <td>3 3年以上5年未満</td> <td>8 25年以上30年未満</td> </tr> <tr> <td>4 5年以上10年未満</td> <td>9 30年以上</td> </tr> <tr> <td>5 10年以上15年未満</td> <td></td> </tr> </table>	1 1年未満	6 15年以上20年未満	2 1年以上3年未満	7 20年以上25年未満	3 3年以上5年未満	8 25年以上30年未満	4 5年以上10年未満	9 30年以上	5 10年以上15年未満						
1 1年未満	6 15年以上20年未満															
2 1年以上3年未満	7 20年以上25年未満															
3 3年以上5年未満	8 25年以上30年未満															
4 5年以上10年未満	9 30年以上															
5 10年以上15年未満																
F6 あなたのお住まいから投票所までの歩いてかかる時間はどれくらいですか。おおよそで結構ですので教えてください。 (○印は一つだけ)	<table border="0"> <tr><td>1 5分以内</td></tr> <tr><td>2 10分以内</td></tr> <tr><td>3 20分以内</td></tr> <tr><td>4 30分以内</td></tr> <tr><td>5 30分を超える</td></tr> </table>	1 5分以内	2 10分以内	3 20分以内	4 30分以内	5 30分を超える										
1 5分以内																
2 10分以内																
3 20分以内																
4 30分以内																
5 30分を超える																
F7 あなたは日頃、どのような活動に参加していますか。 (○印はいくつでも)	<table border="0"> <tr><td>1 町内会・自治会・子供会の活動</td></tr> <tr><td>2 女性会の活動</td></tr> <tr><td>3 青年団の活動</td></tr> <tr><td>4 老人クラブ(会)の活動</td></tr> <tr><td>5 PTAの活動</td></tr> <tr><td>6 農協その他の農林漁業団体の活動</td></tr> <tr><td>7 労働組合の活動</td></tr> <tr><td>8 商工業関係の経済団体の活動</td></tr> <tr><td>9 宗教団体の活動</td></tr> <tr><td>10 同好会、趣味のグループ・サークルの活動</td></tr> <tr><td>11 住民運動・消費者運動・市民運動の団体の活動</td></tr> <tr><td>12 ボランティア活動団体の活動</td></tr> <tr> <td> { どのような分野なのか具体的に } </td> </tr> <tr> <td> 13 その他 { 具体的に } </td> </tr> <tr><td>14 何も参加していない</td></tr> </table>	1 町内会・自治会・子供会の活動	2 女性会の活動	3 青年団の活動	4 老人クラブ(会)の活動	5 PTAの活動	6 農協その他の農林漁業団体の活動	7 労働組合の活動	8 商工業関係の経済団体の活動	9 宗教団体の活動	10 同好会、趣味のグループ・サークルの活動	11 住民運動・消費者運動・市民運動の団体の活動	12 ボランティア活動団体の活動	{ どのような分野なのか具体的に }	13 その他 { 具体的に }	14 何も参加していない
1 町内会・自治会・子供会の活動																
2 女性会の活動																
3 青年団の活動																
4 老人クラブ(会)の活動																
5 PTAの活動																
6 農協その他の農林漁業団体の活動																
7 労働組合の活動																
8 商工業関係の経済団体の活動																
9 宗教団体の活動																
10 同好会、趣味のグループ・サークルの活動																
11 住民運動・消費者運動・市民運動の団体の活動																
12 ボランティア活動団体の活動																
{ どのような分野なのか具体的に }																
13 その他 { 具体的に }																
14 何も参加していない																

最後まで調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

返信用の封筒に入れ、**2月24日(月曜日)まで**に郵便ポストへ投函してください。

令和6年11月24日執行
名古屋市長選挙における
名古屋市民の意識調査
－調査結果の概要－

編集・発行	名古屋市選挙管理委員会 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
発行日	令和7年3月
発行部数	1,000部